

上新田新田西遺跡 上新田赤塚遺跡

国道354号（玉村バイパス）地域自立活性化
交付金事業に伴う埋蔵文化財調査報告書第5集

2009

群馬県伊勢崎土木事務所
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

上新田新田西・上新田赤塚遺跡は佐波郡玉村町に所在し、国道354号線道路改築工事に伴い発掘調査を実施しました。

発掘調査は群馬県伊勢崎土木事務所からの委託を受けて財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が平成20年度に行いました。

今回の調査では奈良平安時代の住居跡と中近世の遺構・遺物が多数発見されました。

玉村町には縄文時代から古代の遺跡が多数確認され、現在でも軍配山古墳・梨の木山古墳などは目にすることができる遺跡です。中世になると鎌倉幕府御家人安達氏の家来の中に玉村太郎の名前が記載された文書が残っております。玉村出身の侍でした。このような遺跡や古文書がある背景には原始・古代以来の人々の営みの歴史があります。ここに人の営みが存在した事実を示しています。今回の調査でもそれを裏付けるように住居跡や溝等が確認されており、住居跡は微高地上にあったことが確認できました。微高地上には住居跡以外にも井戸が造られました。今回は低地部には水田の痕跡は認められませんでした。微高地上に人の生活跡が確認され、低地部には水田等が造られていたことと考えられます。

ここは現在では昭和の圃場整備によりほぼ平坦に見えていますが発掘調査でかつての地勢の復元も可能にしたわけです。

この報告書が群馬県の歴史研究をはじめ、地域の多くの方々、子供達の歴史教材や郷土史研究の一助として頂ければ幸いです。

最後になりましたが玉村町教育委員会、地元関係者の皆様のご指導・ご協力に衷心より感謝いたします。そして発掘調査から報告書作成に至るまで、ご理解とご協力を頂いた群馬県県土整備部、群馬県伊勢崎土木事務所、群馬県教育委員会に感謝の意をあらわし、序といたします。

平成21年10月

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 須田 栄一

例 言

1. 本書は平成20年度の地域自立活性化交付金事業の国道354号(玉村バイパス)建設工事に伴い、発掘調査された上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡の調査報告書である。
2. 上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡は佐波郡玉村町上新田地内に所在する。
3. 事業主体 群馬県土整備部中部県民局伊勢崎土木事務所
4. 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
5. 調査期間 平成20年8月1日～平成21年3月31日
6. 整理期間 平成21年6月1日～平成21年8月31日
7. 発掘調査体制は次の通りである。

理事長 高橋勇夫 常務理事 津金澤吉茂 常務理事 木村裕紀 調査研究部長 飯島義雄
調査研究グループリーダー 原 雅信
事務担当 笠原秀樹 佐嶋芳明 須田朋子 齊藤恵利子 柳岡良宏 矢島一美 齋藤陽子
事務補助員 内山佳子 若田 誠 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり 狩野真子 今井もと子
8. 発掘調査担当 唐澤至郎(10月～3月) 徳江秀夫(8月～9月) 長谷川博幸(8月～3月)
9. 整理体制は次の通りである。

理事長 高橋勇夫(平成21年7月まで) 須田栄一(平成21年7月から) 常務理事(事務局長) 木村裕紀
事業局長 相京建史 総務部長 笠原秀樹
資料整理部長 石坂 茂 資料整理第2グループリーダー 大木紳一郎
事務担当 佐嶋芳明 須田朋子 柳岡良宏 田口小百合 矢島一美 高橋次代
事務補助員 内山佳子 若田 誠 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり 狩野真子 今井もと子
武藤秀典
保存処理 関 邦一 増田政子 津久井桂一 多田ひさ子
遺物写真 佐藤元彦
遺物機械実測 田中精子 町田礼子 田所順子 岸 弘子 木原幸子 福島瑞希
デジタル編集 齊田智彦 牧野裕美 市田武子 安藤美奈子 酒井史恵 廣津真希子 須藤絵美
高梨由美子 矢端真観 横塚由香 下川陽子
整理担当 友廣哲也
10. 原稿執筆 友廣哲也
11. 発掘調査および報告書作成には、玉村町教育委員会、玉村町文化センター、群馬県教育委員会、群馬県伊勢崎土木事務所をはじめ、関係機関並びに下記の方々のご協力をいただきました。記して感謝いたします。

小柴可信 中島直樹
12. 発掘調査資料および出土品は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。

凡 例

- 1 挿図に示す方位記号は国家座標上の北を基準としている。
- 2 遺構および遺物実測図中の縮尺は基本的には1/3であるがそれ以外は図中に表示してある。
- 3 遺構の呼称は算用数字を用い、住居跡、溝、土坑など遺構ごとに番号を付した。また遺構番号は各区ごとに付してある。
- 4 報告にある火山噴出物の表記は以下のとおりである。
A s - A : 浅間A軽石 1783年(天明3年)
A s - B : 浅間B軽石 1108年(天仁元年)
H r - F P : 榛名二ツ岳伊香保軽石 6世紀前半~中葉
H r - F A : 榛名二ツ岳渋川軽石 6世紀初頭
A s - C : 浅間C軽石 3世紀末
- 5 写真図版にある遺物の縮尺は実測図と同じである。

目 次

序

例言

凡例

挿図・表目次

写真図版目次

I 発掘調査と遺跡の概要

- 1 発掘調査に至る経過・・・・・・・・・・ 1
- 2 整理業務の経過・・・・・・・・・・ 2
- 3 遺跡の立地と周辺の遺跡・・・・・・・・ 2
 - a 遺跡の立地・・・・・・・・・・ 2
 - b 周辺の遺跡・・・・・・・・・・ 4
- 4 調査の方法と経過・・・・・・・・・・ 9
 - a グリッドの設定・・・・・・・・・・ 9
 - b 調査区の設定・・・・・・・・・・ 9
 - c 調査の方法・・・・・・・・・・ 9
 - d 調査経過・・・・・・・・・・ 9

II 発掘調査の記録

- 1 遺跡の概要・・・・・・・・・・ 10
 - a 土層と遺構確認面・・・・・・・・ 10
 - b 基本土層・・・・・・・・・・ 10
 - c 調査区周辺・・・・・・・・・・ 10
 - d 調査区内の概要・・・・・・・・ 10

上新田新田西遺跡

III 検出された遺構と遺物

- 1 上新田新田西遺跡I区・・・・・・・・ 12
- 2 上新田新田西遺跡II区1面・・・・・・・・ 16
- 3 上新田新田西遺跡II区2面・・・・・・・・ 17
- 4 上新田新田西遺跡V区・・・・・・・・ 20
- 5 上新田新田西遺跡遺構外出土遺物・・・・ 42

上新田赤塚遺跡

I 検出された遺構と遺物

- 1 上新田赤塚遺跡II区・・・・・・・・ 47
- 2 上新田赤塚遺跡出土遺物・・・・・・・・ 57

挿 図 目 次

第1図	遺跡位置図(国土地理院1:200,000「宇都宮」[長野])	1	第23図	1・2・3・5・6・7・9・10号土坑	29
第2図	国道354号玉村バイパス路線図(1:5,000)	3	第24図	8・11号土坑	30
第3図	遺跡分布図(国土地理院1:50,000「前橋」[高崎])	6	第25図	1・2号溝	31
第4図	1・2号溝	12	第26図	3・4・5・6号溝	32
第5図	3・4・5号溝	13	第27図	7・8・9・10号溝	33
第6図	6・7・8号溝	14	第28図	1・2・3・4号溝出土遺物	34
第7図	新田西遺跡Ⅱ区全体図	15	第29図	1～37号ピット	34
第8図	新田西遺跡Ⅱ区1面全体図	16	第30図	38～78号ピット	35
第9図	Ⅱ区2面1・2・3号土坑、1・2・3・4・5号ピット	17	第31図	79～119号ピット	36
第10図	Ⅱ区2面全体図	18	第32図	120～128・130～147号ピット	37
第11図	V区全体図	19	第33図	新田西遺跡遺構外出土遺物	42
第12図	1号住居跡	20	第34図	赤塚遺跡Ⅱ区全体図	46
第13図	1号住居跡出土遺物(1)	21	第35図	1・2・3・4号井戸、5号土坑	47
第14図	1号住居跡出土遺物(2)	22	第36図	5・6号井戸、3号土坑	48
第15図	2・3号住居跡	22	第37図	1・2・4・6・7・8・9・10・11・12号土坑	50
第16図	2号住居跡・柱穴	23	第38図	13・14・15・16・17・18・19・20・21・22号土坑	51
第17図	2号住居跡出土遺物	24	第39図	23・24・25・26・27・28・29・30・31号土坑	52
第18図	3号住居跡出土遺物	24	第40図	1・2号溝	53
第19図	1・2号井戸、2号井戸出土遺物	25	第41図	3・4・5・6号溝	54
第20図	3・4・5・6号井戸	26	第42図	7・8・9・10・11・12号溝	55
第21図	7・8・9・10号井戸、8号井戸出土遺物	27	第43図	1～12号ピット	56
第22図	11・12号井戸	28	第44図	赤塚遺跡Ⅱ区溝・遺構外出土遺物	57

表 目 次

第1表	遺跡一覧表	7	第4表	土師・須恵・土製品観察表	43
第2表	参考文献一覧表	8	第5表	土師・須恵・土製品観察表	57
第3表	ピット計測表	41			

写真図版目次

PL. 1	I区 1～4号溝		Ⅱ区 全景	
	I区 1～4号溝		Ⅱ区 全景	
	I区 5～8号溝		PL. 5	V区 1号住居使用面
	I区 6号溝			V区 1号住居掘り方
	I区 全景			V区 1号住居使用面
	I区 全景			V区 1号住居内土坑
	I区 全景			V区 1号住居床下レベル出土遺物
PL. 2	Ⅱ区 1号土坑			V区 1号住居竪穴状況
	Ⅱ区 2号土坑			V区 1号住居床下レベル出土遺物
	Ⅱ区 3号土坑			V区 1号住居竪
	Ⅱ区 1号ピット		PL. 6	V区 1号住居出土遺物
	Ⅱ区 2号ピット			V区 1号住居出土遺物
	Ⅱ区 3号ピット			V区 1号住居出土遺物
	Ⅱ区 4号ピット			V区 2号住居使用面
	Ⅱ区 5号ピット			V区 2号住居遺物出土状況
PL. 3	Ⅱ区 汜濫痕			V区 2号住居掘り方
	Ⅱ区 汜濫痕			V区 2・3号住居掘り方
	Ⅱ区 汜濫痕			V区 2・3号住居掘り方
	Ⅱ区 汜濫痕		PL. 7	V区 2号住居竪
	Ⅱ区 汜濫痕			V区 2号住居竪掘り方
	Ⅱ区 汜濫痕			V区 2号住居1号ピット
	Ⅱ区 復旧痕			V区 2号住居2号ピット
	Ⅱ区 復旧痕			V区 2号住居3号ピット
PL. 4	Ⅱ区 復旧痕			V区 2号住居4号ピット
	Ⅱ区 復旧痕			V区 2号住居北側壁痕跡
	Ⅱ区 全景			V区 2号住居出土遺物

PL. 8	V区	2号住居出土遺物	V区	2号溝襪検出	
	V区	1号土坑	V区	3号溝	
	V区	2号土坑	V区	4号溝	
	V区	6・7号土坑	PL.17	V区	5・6号溝
	V区	9号土坑	V区	8号溝	
	V区	10号土坑	V区	8・9号溝	
	V区	11号土坑	V区	溝検出状況	
	V区	1号井戸	V区	溝検出状況	
	PL. 9	V区	2号井戸	V区	水田遺構牛ひずめ跡
		V区	3号井戸	V区	水田遺構牛ひずめ跡
V区		4号井戸	V区	全景	
V区		5号井戸	V区	水田面全景	
V区		5号井戸襪検出状況	PL.19	Ⅱ区	1号土坑
V区		6号井戸	Ⅱ区	2号土坑	
V区		7号井戸	Ⅱ区	3号土坑、5号井戸	
V区		8号井戸	Ⅱ区	4号土坑	
PL.10		V区	9号井戸	Ⅱ区	4号井戸、5号土坑
		V区	10号井戸	Ⅱ区	6号土坑
	V区	11号井戸廻り方	Ⅱ区	7号土坑	
	V区	11号井戸廻り方	Ⅱ区	8号土坑	
	V区	11号井戸	PL.20	Ⅱ区	10号土坑
	V区	12号井戸	Ⅱ区	11号土坑	
	V区	1号ビット	Ⅱ区	12号土坑	
	V区	2号ビット	Ⅱ区	13号土坑	
	PL.11	V区	3号ビット	Ⅱ区	14号土坑
		V区	4号ビット	Ⅱ区	15号土坑
V区		5号ビット	Ⅱ区	16・17号土坑	
V区		6号ビット	Ⅱ区	18・19号土坑	
V区		7号ビット	PL.21	Ⅱ区	20・21号土坑
V区		8号ビット	Ⅱ区	22号土坑	
V区		9号ビット	Ⅱ区	23号土坑	
V区		10号ビット	Ⅱ区	24号土坑	
PL.12		V区	11号ビット	Ⅱ区	25号土坑
		V区	12号ビット	Ⅱ区	26号土坑
	V区	13号ビット	Ⅱ区	27号土坑	
	V区	14号ビット	Ⅱ区	28号土坑	
	V区	15号ビット	PL.22	Ⅱ区	29号土坑
	V区	16号ビット	Ⅱ区	30号土坑	
	V区	17号ビット	Ⅱ区	31号土坑	
	V区	18号ビット	Ⅱ区	1～3号井戸	
	PL.13	V区	19号ビット	Ⅱ区	6号井戸
		V区	20号ビット	Ⅱ区	1号ビット
V区		21号ビット	Ⅱ区	2号ビット	
V区		22号ビット	Ⅱ区	3号ビット	
V区		23号ビット	PL.23	Ⅱ区	4号ビット
V区		24号ビット	Ⅱ区	5号ビット	
V区		25号ビット	Ⅱ区	6号ビット	
V区		26号ビット	Ⅱ区	7号ビット	
PL.14		V区	27号ビット	Ⅱ区	8号ビット
		V区	28号ビット	Ⅱ区	9号ビット
	V区	29号ビット	Ⅱ区	10号ビット	
	V区	30号ビット	Ⅱ区	11号ビット	
	V区	I-146ビット全景	PL.24	Ⅱ区	12号ビット
	V区	I-116ビット全景	Ⅱ区	1・2・4号溝	
	V区	J-126ビット全景	Ⅱ区	2・9号溝	
	V区	J-136遺物出土状況	Ⅱ区	3・7・8号溝	
	PL.15	V区	K-11・12、L-126ビット全景	Ⅱ区	5号溝
		V区	K-136ビット全景	Ⅱ区	6号溝
V区		K-15・166ビット全景	Ⅱ区	7号溝	
V区		L-136ビット全景	PL.25	Ⅱ区	9号溝
V区		L-146ビット全景	Ⅱ区	全景	
V区		L-156ビット全景	Ⅱ区	10・11号溝	
V区		L-16、M-166ビット全景	Ⅱ区	全景	
V区		1・2号溝分岐	Ⅱ区	全景	
PL.16		V区	1・7号溝切り合い	PL.26	出土遺物
		V区	1・7号溝	PL.27	出土遺物
	V区	1号溝出土遺物			

1 発掘調査と遺跡の概要

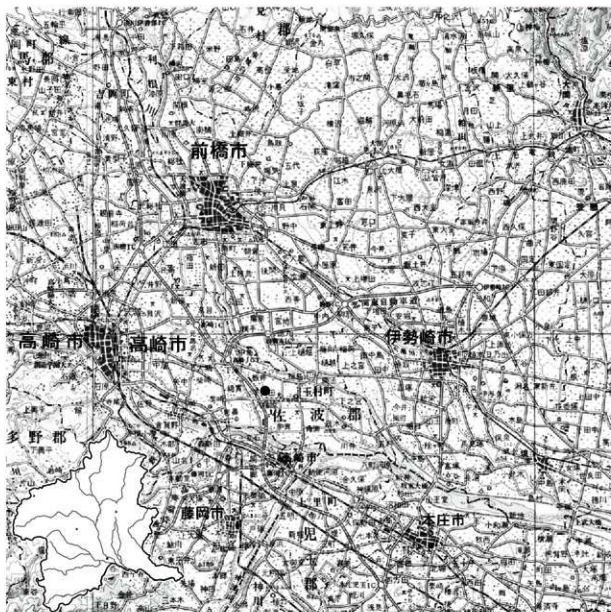
1 発掘調査に至る経過

国道354号線は、高崎駅東口を起点とし、玉村町、伊勢崎市、太田市、大泉町、邑楽町を経て館林市に至る。県内南東部主要都市を結び、東北自動車道館林インターチェンジを過ぎ板倉町に至る総延長58.6kmの広域幹線道路である。

本国道の建設・改修計画は県央部と県内南東主要都市を連携する目的と沿道の産業立地、物流の円滑

化、生活環境の利便化等地域発展に貢献する交通網整備の一環として計画されたものである。

本広域幹線道路国道354号線は昭和37年度にスタートした。県南部を東西に走る本道路は東北自動車道館林インターチェンジ付近の事業開始に始まり以来暫時核地域で事業化が進んできた。事業は平成19年度には全体計画のほぼ70%を超え、並行して埋蔵文化財発掘調査も継続して進められ、本年度平成



第1図 遺跡位置図(国土地理院1:200,000「宇都宮」[長野])

1 発掘調査と遺跡の概要

21年度も高崎市稲貫町内綿貫牛道遺跡の埋蔵文化財発掘調査が進められている。

玉村町内の国道354号線改築事業は玉村バイパス延長5.3kmとして平成5年度に事業が開始された。計画路線内の埋蔵文化財包蔵地の発掘調査は県教育委員会、県土木部、伊勢崎土木事務所による協議を経て、平成8年度から発掘調査が開始された。この玉村バイパスの発掘調査は交差する主要地方道藤岡大胡バイパス（平成13年12月15日開通）事業計画との関連で交差する西側から発掘調査を開始した。

遺跡の東端藤岡大胡線に接する部分は字名は福島久保田にかかる部分にあたるが範囲が狭いために福島大島遺跡として報告に含んでいる。調査は平成8年度に本遺跡西端部跨橋部にかかるカルバートボックス部の調査を実施した。翌平成9年度から10年度にかけそれ以外の地域の調査を実施した。平成10年度～12年度は工事工程との関係により調査の中断をはさみながら福島大島遺跡の西に隣接する福島飯塚遺跡の調査を行った。平成12年度には工事工程で土質調査・土圧試験を行うために斉田竹之内遺跡の一部を発掘調査した。

平成13年度は福島飯玉遺跡、斉田竹之内遺跡の残り部分の調査を行い、平成14年度にはこの2遺跡に加え斉田中耕地遺跡、平成15年度は斉田中耕地遺跡、平成16年度は斉田中耕地遺跡に加え上新田中道東遺跡（本線部を除く側道部のみ）の発掘調査を実施した、このため16年度には上新田中道東遺跡地内の本線部は発掘調査が終了していないため平成20年度に本線部の調査が行われた。

あわせて同20年度に本報告上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡と綿貫原北遺跡が実施されている。

2 整理業務の経過

国道354号線（玉村バイパス）の整理業務は発掘調査の進捗に伴い平成15年度に開始された。既に発掘調査は平成8年度に始まっていたため整理業務も早期着手をし、調査報告書の刊行が急がれた。玉村町内の埋蔵文化財中・長期計画に基づき整理業務は

平成15年度は1班体制で福島飯塚遺跡に着手した。

福島飯塚遺跡は平安時代の墨書土器を多数出土したことで貴重な遺跡である。

しかし年度後半になり継続事業として次年度まで継続する予定の計画は急遽一時中断することとなった。

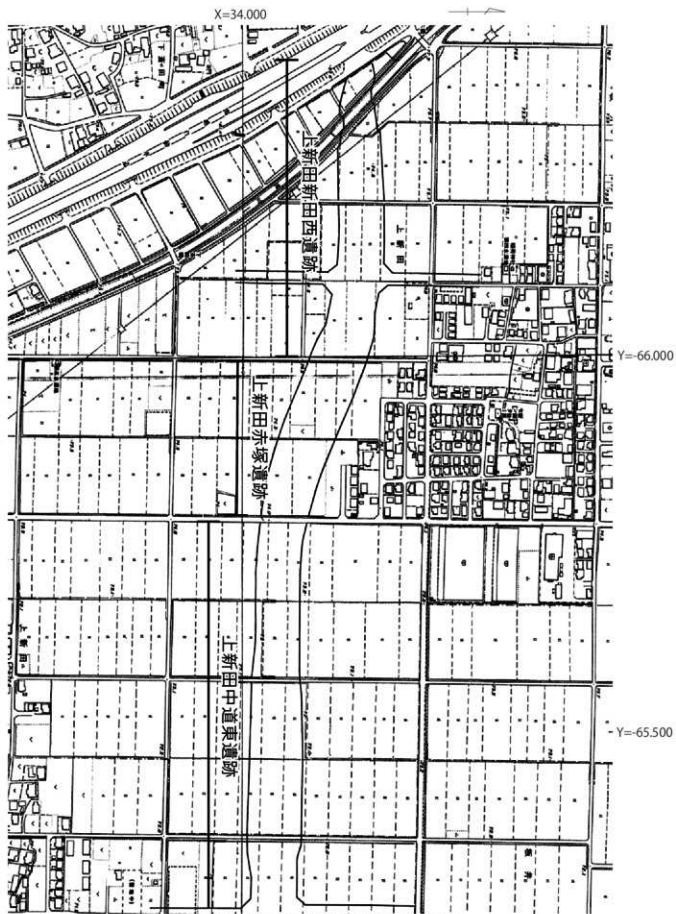
その後平成18年度に入り整理業務が再開され、当該年度に『福島飯塚遺跡（1）』（財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第400集）が刊行された。平成19年度には『福島飯塚遺跡（2）』（財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書435集）が刊行され、福島飯塚遺跡の整理業務は終了した。平成19年度は整理班も2班となり、並行して「福島飯玉遺跡」の整理業務は20年度に刊行するまでに至り、福島大島遺跡の一部も着手された。

平成20年度は昨年度からの継続整理の福島大島遺跡と斉田中耕地遺跡の整理業務が行われ、刊行は両遺跡共に今年度平成21年度に予定している。あわせて上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡、中道東遺跡の整理業務を行い、上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡報告書を刊行することになった。

3 遺跡の立地と周辺の遺跡

a 遺跡の立地

上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡をはじめとする玉村バイパスに関連する遺跡群は佐波郡玉村町に所在する。この地は関東平野西北に位置し、上新田新田西遺跡は東経139度5分53秒、北緯36度18分19秒、上新田赤塚遺跡は東経139度5分57秒、北緯36度18分18秒を測る。地形的には低湿地と微高地の違いによる多少の高低差はあるものの、海拔68～69mを測るほぼ平坦地となっている。町の東北部を利根川が南東流し、西部を井野川が南流し、やがて町内南部で烏川と合流し、南東流する。玉村はこのような河川が流れ、水利に恵まれた地であったと共に大小の洪水等による複数に亘る文化面（調査面）の多い遺跡も確認されている（福島大島遺跡・斉田中耕地遺跡等）。特に昭和22年には当時の大型台風キャ



第2図 国道354号玉村バイパス路線図 (1 : 5,000)

1 発掘調査と遺跡の概要

サリン台風の直撃を受け町は大きな被害を受けたが、その後の圃場整備により現在では整然と区画された水田が広がる農耕地帯となっている。

玉村町は県内南部に位置し北は前橋市に接し東は伊勢崎市、南は藤岡市・新町を経て埼玉県上里町、本庄市に至る。玉村からの眺望は南東部に秩父山地・関東山地、西方には観音山丘陵、その後方に妙義山・浅間山を望む。西北方向には榛名山の外輪山が連なり中央部中腹には扇状地相馬ヶ原が見える。北方向には赤城山を望み榛名山と赤城山の間には子持山や奥に谷川岳をみることができる。赤城山の北東方向には長い裾野の先に日光、足尾山系が続く。遺跡周辺地は平坦な地形を保つが南端部は烏川の侵食により一部急崖となっている。

玉村町が所在するのは前橋市の北部を要した扇状地形の先端部近くにあり、利根川に寄って運ばれた河成堆積物により形成される。この台地は前橋台地と呼ばれ洪積後期に厚さ200メートルほどの堆積層である。その上には2万年~2万4千年前の浅間山の噴火による泥流堆積物が覆っている。この層は前橋泥流堆積層と呼ばれる凝灰角礫岩を含み群馬県南部から高崎市内北東部一帯、東は前橋市から伊勢崎市西部にかけて10mを越えて堆積している。この前橋泥流は烏川と広瀬川にはさまれた県内中央平野部の基盤層となっている。さらに泥流層上にシルト、砂、粘土などで構成される水性ローム層が堆積している。水性ローム層に含まれる泥炭質粘土層は化学分析の結果から前橋台地の形成は1万3千年前と考えられる。

その後前橋台地は堅く締まっており侵食ができずに複数の河川のまま変流を繰り返していたものと考えられ沖積地化が進んだ。この結果前橋台地にはロームの堆積がほとんどなく微高地と湿地が入り組んだ地形を形成したものと考えられる。

b 周辺の遺跡

上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡が立地する前橋台地上を平成7年から北関東自動車道の建設に伴う事前発掘調査が開始された。それに伴う事前発掘

調査も当事業団が当たり多くの遺跡の発掘調査を担当した。北関東自動車道は前橋市、伊勢崎市、太田市に渡り玉村バイパスの北約2kmを東西走している。その事前調査から今までになかった多くの新たな資料が多数確認されることとなった。北関東自動車道は平成18年度に太田・桐生インターチェンジまでを終了し、平成20年3月に高崎太田間が開通した。

【旧石器時代】 玉村町の現在の地形が形成されたのは2万数千年前とされ低湿地であったため人間が生活できる環境にはなかったと考えられてきた。前橋泥流の上に立地するからと考えられる。今の段階では玉村町内、前橋南東部前橋泥流上では旧石器時代の遺物は確認されていない。

【縄文時代】 縄文時代の遺構は福島曲戸遺跡、上之手石塚Ⅲ遺跡から土坑が確認されているが旧石器同様前橋泥流上の立地環境からと考えられていた。しかし近年前橋市徳丸仲田遺跡から縄文時代草創期の土器・礫・剥片・砕片が出土して注目を集め、口縁部に単隆起線をもつ土器や尖頭器等が出土している。

従って同じ前橋泥流上に立地する玉村町周辺から今後縄文時代の遺構・遺物が確認されることは容易に認められることである。

【弥生時代】 玉村町内では今までは弥生時代の遺構・遺物は多いとは言えなかったが同じ台地上前橋市南部を走る北関東自動車道の発掘成果では複数遺跡から弥生時代中期から後期にかけての土器が確認されている。当遺跡からは弥生時代の土器片は確認されておらず、弥生時代の生活した痕跡を認めることができない。しかし同じ354号線の調査或いは南北走する大胡県道では弥生時代中期から後期にかけての遺構・遺物が確認されている。(福島曲戸遺跡・福島飯塚遺跡等) 玉村町内上飯島芝根遺跡では中期後半期に比定される「御新田式」の住居跡が確認され注目されている。御新田式土器は関東東地域に分布の中心を持ち群馬県内では栗林式土器(竜見町土器)に並行する。北関東自動車道の調査事例や本玉村・高崎バイパスの事前調査の資料集積から従来認識さ

れていた弥生時代は山麓一帯に集落を営み前橋・伊勢崎等利根川南部一帯は弥生時代は無住の地であったという認識は覆され始めている。それをさらに補強するように利根川対岸埼玉県では弥生時代中期の遺跡群が次々と平野低地部から確認されている。

【古墳時代】 弥生時代の無住の地説が覆えり、古墳時代初期には弥生時代同様他地域の土器が爆発的に増加した。たとえば東海、北陸、南関東等様々な地域の土器が確認される。玉村町内でも同様な複数地域との活発な交流が進みながら平野部の開発が始まったことと理解できる。前橋市徳丸仲田遺跡では灌漑用の水路と認められるものが確認されている。さらに北関東自動車道の調査結果から平野部には広く水田の存在も確認され、古墳時代は大きかりな灌漑を伴う水耕が開始されたものと理解できる。

玉村町内には福島曲戸遺跡・福島稲荷木遺跡・上之手八王子遺跡・上飯島芝根遺跡・下郷遺跡・北原遺跡等多くの集落や墓が確認され、内向花文鏡2面を出土した古墳軍配山古墳も存在している。上之手遺跡では外周に溝をめぐる住居跡、類例は静岡県東部に確認されている。下郷遺跡では周溝墓が28基確認され、3世紀から5世紀の間継続している。同事業の354号線、福島飯塚遺跡からも古墳時代前期方形周溝墓、溝、土坑等から前期土器が確認されている。飯塚遺跡では5～6世紀へ継続して住居跡が検出され、さらに福島大島遺跡では古墳時代の水田跡が3面に渡り確認、東に隣接する福島曲戸遺跡・福島久保田遺跡でも同時期の小区画水田が確認されている。

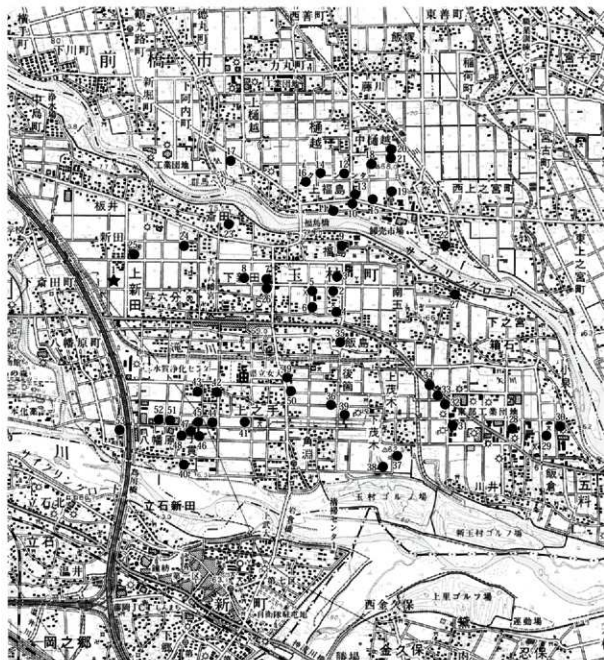
日本書紀によれば大化年間に初めて東国に派遣された地方長官である官人は上野国で朝倉君と井上君を迎えられたという記載がある。朝倉郷は倭名類聚抄によれば玉村町周辺にある。これに従えば朝倉一族が住した所と言うことができる。またこの時上毛野氏は出迎えなかったということになっている。また大化以前の国遣の名も忘れられていたとされ、古墳時代の東国の覇者といわれる上毛野氏は少なくとも7世紀には存在せず記憶すらなかったようであ

る。しかし7世紀にはいって総社古墳群は継続し、朝倉君や井上君なのかそれ以外にも豪族が造営したものと理解できる。

【奈良・平安時代】 当遺跡が立地する現玉村町那波郡は朝倉、朝田、田子、佐味、委文、池田、荒東の7郷が倭名類聚抄に記載がある。このうち朝倉郷が玉村に比定される可能性が高い。福島稲荷木遺跡、上飯島芝根Ⅱ遺跡、上之手八王子遺跡、行人塚遺跡、神人村Ⅱ遺跡、原浦遺跡、原浦Ⅱ遺跡など多くの集落遺跡が確認され、金免遺跡、深町遺跡、中道西遺跡、三境遺跡、三境Ⅱ遺跡では天仁元年(1108)噴火した浅間噴火により噴出した火山軽石(浅間B軽石)に覆われた水田が確認されている。一万田遺跡では柵列や瓦も確認されている。砂町遺跡、上福島尾柄遺跡では推定東山道が確認されている。福島飯塚遺跡からは「家」「宮」等の記載が確認される大量の墨書土器を検出した。

【中・近世】 時代は武士の時代へ移ってくると玉村周辺には多くの掘立柱建物跡が確認されている。特に鎌倉時代には有力御家人である安達氏が上野では大きな力を持ったようである。その執事として名前が残るのが玉村太郎である。太郎は安達氏の有力配下としてこの地域の地名にその名を記した。当時の群馬県内では板鼻の宿が甲信越地域と鎌倉東国さらには東山道といった交通の要衝であった事が知られている。玉村周辺地域が流通経済や交通の重要性地と考える、安達屋敷跡の存在の伝承も玉村町八幡原に残っている。そのような屋敷・館の跡と思われる掘立柱建物跡が以下のように多数玉村には残っている、田口下元屋敷遺跡、斉田塚屋敷群、宇賀遺跡、下郷遺跡、上之手石塚遺跡、福島大光坊遺跡、阿佐美館、福島飯塚遺跡さらには当福島大島遺跡も含まれる。玉村周辺は数千年にわたり火山火砕流や泥流等多くの災害を受けてきた。その中でも現在に復旧の跡を残したのが1783年に起きた浅間山の噴火である。天明年間浅間山噴火により火砕流は玉村町周辺の農地を覆い尽くした。玉村の人災害から復旧をめざした。復旧溝と呼ばれる溝群である。復旧溝は甲

1 発掘調査と遺跡の概要



第3図 遺跡分布図(国土地理院1:50,000「前橋」高崎)

独ではなく何本もの溝を掘りその中に火災噴出物や上から運ばれた石などを埋めてしまい、そして掘上げた溝の土を農耕土としたのである。人々の災害に対する復旧魂を見る思いである。上福島中町遺跡は泥流に埋もれた当時の村がその下からあらわれ、当時の生活用品の品々を検出することができた。利根添遺跡では上手が、桶越諏訪遺跡では家屋や植え込み、土手、畠、柄田添遺跡、沖遺跡、小泉大塚遺跡

からは畠や水田から当時の耕作痕や足跡が確認された。

第1表 遺跡一覧表

No	遺跡名	所在地	遺跡の内容
1	上新田新田西遺跡	玉村町上新田	本書所収。
	上新田赤塚遺跡	玉村町上新田	本書所収。
2	福島大島遺跡	玉村町福島	古墳時代の水田、平安時代の住居跡、水田、中世館。
3	福島久保田遺跡	玉村町福島	古墳時代、平安時代住居跡、水田跡、中世の掘立柱建物跡、水田跡。
4	福島大光坊遺跡	玉村町福島	古墳時代、奈良・平安時代住居跡、水田、中世掘立柱建物跡等。
5	福島飯塚遺跡	玉村町福島	古墳時代、奈良・平安時代住居跡。平安時代墨書土器。
6	福島稲荷木遺跡	玉村町福島	古墳時代、奈良・平安時代住居跡等。
7	福島飯玉遺跡	玉村町福島	中世の水路。
8	西田竹ノ内遺跡	玉村町福島	平安時代住居跡、井戸、中世の水路、環濠を持つ屋敷。近世水田、畠。
9	福島曲戸遺跡	玉村町福島	古墳時代、奈良・平安時代住居跡、掘立柱建物跡、水田、近世復旧溝跡。
10	上福島遺跡	玉村町福島	古墳時代の溝、ピット。平安時代の水田、近世の畠。
11	上福島中町遺跡	玉村町上福島	近世の屋敷跡、畠、道。中世の堀り、溝、土坑。古墳時代の溝。
12	上福島尾柄町遺跡	玉村町上福島	平安時代の水田。推定東山道跡。(牛軋・矢ノ原ルート)
13	尾柄町遺跡	玉村町上福島	平安時代水田。
14	砂町遺跡	玉村町上福島	古墳時代の用水路、奈良・平安時代の道路遺構(推定東山道跡)平安時代水田。
15	一万田遺跡	玉村町上福島	奈良・平安時代官衙跡。
16	金免遺跡	玉村町上福島	平安時代水田。
17	柳田浜遺跡	玉村町上福島	奈良・平安時代住居跡、水田、江戸時代畠。
18	阿佐美館	玉村町樋越	中世館跡。
19	神人村Ⅱ遺跡	玉村町樋越	奈良・平安時代住居跡。
20	原浦遺跡	玉村町樋越	平安時代住居跡。
21	原浦Ⅱ遺跡	玉村町樋越	古墳時代溝。平安時代集落。鎌倉時代溝。
22	樋越諏訪前遺跡	玉村町樋越	江戸時代家屋、植え込み、土手、溝、畠。
23	田口下屋敷遺跡	玉村町西田	中世屋敷跡。
24	深町遺跡	玉村町上新田	平安時代水田。
25	中道西遺跡	玉村町上新田	平安時代水田。近世溝。
26	布留坂遺跡	玉村町上新田	平安時代水田。
27	利根浜遺跡	玉村町下之宮	江戸時代畠、土手。
28	沖遺跡	玉村町川井	江戸時代畠、田川跡。
29	小泉大塚遺跡	玉村町小泉	後期古墳。平安時代水田。江戸時代畠。
30	小泉長塚遺跡	玉村町小泉	後期古墳。江戸時代畠。
31	北原遺跡	玉村町川井	古墳時代方形周溝墓。奈良・平安時代集落跡。
32	平塚塚北遺跡	玉村町川井	平安時代ピット。江戸時代水田。
33	三境Ⅱ遺跡	玉村町上茂木	平安時代水田。
34	三境遺跡	玉村町上茂木	平安時代水田。
35	上飯島芝根Ⅱ遺跡	玉村町上飯島	古墳時代前期集落跡。奈良・平安時代集落跡、水田。
36	五郎作高遺跡	玉村町後須	平安時代住居跡。掘立柱建物跡。近世溝。
37	オトカ塚古墳	玉村町下茂木	後期古墳。
38	梨ノ木山古墳	玉村町下茂木	後期古墳。
39	御配山古墳	玉村町角洲	前期古墳。
40	御門遺跡	玉村町角洲	古墳時代円形周溝墓方形周溝溝遺構、住居跡。
41	駒越島遺跡	玉村町上之手	平安時代溝、土坑。
42	上之手八王子Ⅱ遺跡	玉村町上之手	平安時代住居跡。溝。中世溝。
43	上之手八王子遺跡	玉村町上之手	古墳時代前期集落跡。奈良・平安時代集落跡。
44	原原敷Ⅱ遺跡	玉村町上之手	平安時代住居跡。溝。中世溝。
45	行人塚遺跡	玉村町上之手	奈良・平安時代集落跡。
46	上之手石塚Ⅲ遺跡	玉村町上之手	縄文時代土坑、弥生時代土坑。平安時代住居跡。溝。中世溝跡土坑。
47	上之手石塚Ⅳ遺跡	玉村町上之手	奈良時代住居跡。溝。平安～近世溝。
48	上之手石塚遺跡	玉村町上之手	古墳時代前期方形周溝墓、住居跡。奈良・平安時代住居跡。中世館跡。
49	曲田遺跡	玉村町上之手	平安時代掘立柱建物跡、井戸、溝。
50	曲田遺跡Ⅱ	玉村町上之手	平安時代水田。
51	宇賀遺跡	玉村町宇賀	古墳時代前期住居跡。土坑。中世館跡。
52	赤城Ⅱ遺跡	玉村町宇賀	古墳時代土坑。奈良時代土坑。中世溝跡。
53	下郷遺跡	玉村町宇賀	古墳時代前期方形周溝墓。古墳。中世館跡。

1 発掘調査と遺跡の概要

第2表 参考文献一覧表

No	遺跡名	参考文献
	1・2は未刊	
3	福島久保田遺跡	「福島久保田遺跡」「福島大光坊遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書317集 2003
4	福島大光坊遺跡	「福島久保田遺跡」「福島大光坊遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書317集 2003
5	福島飯塚遺跡	「福島飯塚遺跡(1)」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書第400集 2007 「福島飯塚遺跡(2)」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書第435集 2008
6	福島稲荷木遺跡	「福島稲荷木遺跡」玉村町教育委員会
7	福島飯玉遺跡	「福島飯玉遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書446集 2008
8	齊田竹ノ内遺跡	「齊田竹ノ内遺跡」「年報21」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002
9	福島曲戸遺跡	「福島曲戸遺跡・上福島遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書309集 2002
10	上福島遺跡	「福島曲戸遺跡・上福島遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書309集 2002
11	上福島中町遺跡	「上福島中町遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書318集 2003
12	上福島尾柄町遺跡	「上福島尾柄町遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書302集 2003
13	尾柄町遺跡	「尾柄町遺跡」玉村町教育委員会 報告書第4集 1992
14	妙町遺跡	「妙町遺跡」「年報18」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999
15	一方田遺跡	「一方田遺跡」「玉村町の遺跡」玉村町教育委員会 1992
16	金免遺跡	「金免遺跡」玉村町教育委員会 報告書第1集 1989
17	柄田浜遺跡	「柄田浜遺跡」玉村町教育委員会
18	阿佐美館	「阿佐美館」「群馬古城築城の研究」山崎一著 1978
19	神人村Ⅱ遺跡	「神人村Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第3集 1992
20	原浦遺跡	「原浦遺跡」玉村町教育委員会 報告書第20集 1998
21	原浦Ⅱ遺跡	「原浦Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第16集 1996
22	桶越薬坊前遺跡	「桶越薬坊前遺跡」「群馬の遺跡2-一発掘前編97」群馬県教育委員会 1997
23	田口下屋敷遺跡	「田口下屋敷遺跡」玉村町教育委員会 報告書第36集 2000
24	深町遺跡	「深町遺跡」「玉村町の遺跡」玉村町教育委員会 1992
25	中道西遺跡	「中道西遺跡」玉村町教育委員会 報告書第17集 1996
26	布留坑遺跡	「布留坑遺跡」玉村町教育委員会 報告書第27集 1998
27	利根浜遺跡	「利根浜遺跡」玉村町教育委員会 報告書第23集 1998
28	沖遺跡	「沖遺跡」玉村町教育委員会 報告書第32集 1999
29	小泉大塚遺跡	「小泉大塚遺跡」玉村町教育委員会 報告書第10集 1993
30	小泉長塚遺跡	「小泉長塚遺跡」「玉村町の遺跡」玉村町教育委員会 1992
31	北原遺跡	「北原遺跡」玉村町教育委員会 報告書第14集 1995
32	平塚原北遺跡	「平塚原北遺跡」玉村町教育委員会 報告書第15集 1996
33	三境Ⅱ遺跡	「三境・三境Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第18集 1997
34	三境遺跡	「三境・三境Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第18集 1997
35	上飯島芝根Ⅱ遺跡	「上飯島芝根Ⅱ遺跡」「玉村町の遺跡」玉村町教育委員会 1992
36	五郎作遺跡	「五郎作遺跡」玉村町教育委員会 報告書第21集 1998
37	オト方塚古墳	「オト方塚古墳」「上毛古墳総覧-芝根村2号墳」群馬県 1938
38	梨ノ木山古墳	「梨ノ木山古墳」「上毛古墳総覧-玉村1号墳」群馬県 1938
39	御配山古墳	「御配山古墳」「上毛古墳総覧-芝根村3号墳」群馬県 1938
40	御門遺跡	「御門遺跡」玉村町教育委員会 報告書第22集 1998
41	粉糠島遺跡	「粉糠島遺跡」玉村町教育委員会 報告書第25集 1998
42	上之手八王子Ⅱ遺跡	「上之手八王子Ⅱ遺跡・原屋敷Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第19集 1997
43	上之手八王子遺跡	「上之手八王子遺跡」玉村町教育委員会 1991
44	原屋敷Ⅱ遺跡	「上之手八王子Ⅱ遺跡・原屋敷Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第19集 1997
45	行人塚遺跡	「行人塚遺跡」「玉村町の遺跡」玉村町教育委員会 1992
46	上之手石塚Ⅲ遺跡	「上之手石塚Ⅲ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第8集 1993
47	上之手石塚Ⅳ遺跡	「上之手石塚Ⅳ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第12集 1993
48	上之手石塚遺跡	「上之手石塚遺跡」玉村町教育委員会 報告書第39集 2000
49	曲田遺跡	「曲田遺跡」玉村町教育委員会 報告書第30集 1999
50	曲田遺跡Ⅱ	「曲田遺跡Ⅱ」玉村町教育委員会 報告書第31集 1999
51	宇貫遺跡	「宇貫遺跡」玉村町教育委員会 報告書第34集 1999
52	赤城Ⅱ遺跡	「赤城Ⅱ遺跡」玉村町教育委員会 報告書第13集 1993
53	下郷遺跡	「下郷遺跡」群馬県教育委員会 1980

4 調査の方法と経過

a グリッドの設定

国道354号線玉村バイパスに伴う埋蔵文化財発掘調査においては、国家座標に基づき玉村町全域を網羅するように南東隅の座標 $X=30,000$ ・ $Y=60,000$ を起点とする10km四方の区画を設定し、それを「地区」とした。

そして、その「地区」を1km四方に分割し、南東隅から北に向けて1～100の番号を平行に付して「区」（大区画）とした。

次にこの大区画を100m四方に分割し大区画同様に番号を付し「中グリッド」とした。

さらに中グリッドを5m四方に分割し「小グリッド」とした。この小グリッドは南東隅を起点として西方向（X軸方向に）アラビア数字を1から、北方向にアルファベットをAから順に付した。

発掘調査の実施にあたってはこの「小グリッド」を基本にしている。

上新田新田西遺跡は「65」区（大区画）の「2・12・32」に上新田赤塚遺跡は「55」区（大区画）「81・82・91・92」に位置する。

本報告書中で記載するグリッドは、このような大・中・小の各区画のうち中・小グリッドを特定している。たとえば65T23とは中グリッド65のT23小グリッドのことである。

b 調査区の設定

発掘調査に際しては基準とする区画やグリッドとは別にR354号玉村バイパス計画路線を南北に走行する町道及び水路を境界として、任意の調査区に区分けした。この地域は区画整理事業が終了していることで水田区画も専水路も100mとなっている。調査区は上新田新田西遺跡は1～V区に分かれ、上新田赤塚遺跡はI・II区にわけて群馬県教育委員会文化財保護課によって試掘調査が実施された。試掘調査の結果では新田西遺跡III・IV区および赤塚遺跡I区では遺構が検出されなかったこのため新田西遺跡I・II・V区、赤塚遺跡II区を対象地としてを発掘調査を開始した。

c 調査の方法

確認された遺構は中央部に土層確認用に半裁し土層断面を観察した。

遺構番号は着手した順に振ったもので全く他の意味を示していない。

遺構の記録は実測図と写真撮影によった。遺構は調査区内をグリッドに準じ遺構ごとに作図した。遺構によっては20分の1にした。遺構写真はデジタルカメラ、白黒写真6×7判で撮影した。

調査区に広がり面積が大きい水田遺構あるいは全景写真は航空測量をかね専門業者に委託をした。

d 調査経過

上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡は平成20年8月1日から発掘調査が着手され、当年度3月31日に終了した。発掘調査は玉村町内を東西走するR354号線玉村バイパスと南北方向に交差する関越自動車道新潟線に接する部分から東に向かい新田西遺跡V区から開始した。

本報告書は上新田新田西遺跡I・II・V区、上新田赤塚遺跡II区をあわせ報告書を平成21年度に刊行することになった。

平成20年度調査日誌抄

担当職員 唐澤至郎（10月～3月）・徳江秀夫（8・9月）・長谷川博幸（8月～3月）

平成9年8月1日調査開始

新田西遺跡V区より掘削開始

並行して東に向かい掘削を継続する。

8月 赤塚遺跡II区までの掘削を終了。

9月 新田西遺跡V区I・2号住居跡床面精査、
井戸掘削開始。

10月 II区B軽石下精査。

11月 I区天明3年A軽石下精査、溝確認。

12月 赤塚遺跡II区終了部分埋めもどし。

新田西遺跡終了部分埋めもどし。

1月 赤塚遺跡II区井戸調査。

2月 新田西I区表土掘削、遺構精査。

赤塚遺跡II区遺構精査。

3月 新田西遺跡・赤塚遺跡埋めもどし。

II 発掘調査の記録

1 遺跡の概要

a 土層と遺構確認面

調査対象区域は現代水田地帯が広がっていた。等遺跡を含む高崎・玉村バイパス工事予定地のほぼすべての地域は昭和30年代に土地改良工事が実施されていた。このため現代では水田地帯であり、標高はほぼ74～75mを測る。

しかし土地改良工事以前は北側を東南流する現利根川と南側を同じく東南流する現烏川による氾濫層を至る所に確認することができる。さらには浅間山の噴火、噴火に伴う火災泥流、火砕流等の被害もたびたび繰り返されるところであった。そのような場所の発掘調査はかつての微高地や谷、耕作面や居住面が災害に見舞われながらも複数の調査面を形成していた。遺跡調査面も同様ではなく様々な様相をみせている。このような相違は東側に隣接する中道東遺跡とも異なりをみせている。

以下確認面の層位を示す。

第1面

As-A 軽石下面

天明3年(1783)浅間山噴火に伴う被災時の面と考えられる。新田西遺跡に確認され、A軽石下の高の痕跡を確認。

第2面

As-B 軽石混土下面

洪水による氾濫層で覆われた面、As-B 軽石下洪水層にあたる。新田西遺跡Ⅰ・Ⅱ区、赤塚遺跡Ⅱ区で確認され、B混水田の痕跡状のものを残している。

第3面

As-C～B降下の間層平安面を確認。このため両遺跡内ではこれより下位の層は洪水等により確認されていない。

b 基本土層

上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡では総面積11,880㎡を調査した。この範囲内でも所々により基本土層が異なっているがほとんどの部分では洪水等により水害を受けている。遺跡内を含む玉村町は東西に走る利根川による水害を古代から継続的に受けてきた。特に近代では昭和22年のキャサリン台風が有名である。このような洪水層が何層にも重なり、同じ調査区内でも東西壁の層が異なっている遺跡が多く、調査も同じ玉村町内東部354号バイパスの福島大島遺跡では12面の調査面を数える。

c 調査区周辺

上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡は前橋台地南西端部に位置し、標高は73～75mを測る。調査面はほぼ全面が現水田面にある。調査地は東から赤塚Ⅱ区、新田西Ⅰ区・Ⅱ区・Ⅴ区と続き、新田西Ⅴ区は南北走する関越自動車道新沼線に接する。

遺跡地北側には利根川、南には烏川が南東流している。また西側には井野川も南東流し、それぞれ浸食崖を形成している。遺跡地は現状では平坦な水田面をなすが、遺跡内は圃場整備を受け上面は攪乱を受け、下面は度重なる洪水の被害の跡を残している。このため本遺跡群最東端赤塚Ⅱ区の東に接する上新田中道東遺跡とも全く異なった層位と遺構面を示している。圃場整備前は微高地と後背湿地が複雑に重なり合う地域であった。

d 調査区内の概要

上新田新田西遺跡Ⅰ区

圃場整備事業により、上位層の大半が削られ、As-B 軽石混土層水田の可能性が高いが畦畔は全く検出されなかった。As-A (1783) 降下後の溝5条を確認した。

上新田新田西遺跡Ⅱ区

As-A 軽石を被覆する高の痕跡を確認。本区でもAs-B 混土層を広く確認したが、水田面の確認はできなかった。土坑、小穴等を確認した。

上新田新田西遺跡V区

圃場整備以前は微高地であったと考えられ奈良平安時代の住居跡が検出された。住居跡の残りは悪く集落があったと考えられるが洪水と圃場整備等により攪乱を受けている。竪穴住居跡3軒、井戸12基、溝9条、土坑11基、小穴を144基確認した。V区内の遺構はほぼ住居跡と同様の年代と考えられる。

上新田赤塚遺跡II区

遺構精査面からはAs-B軽石がわずかに残る面が確認された。しかし水田の痕跡は確認されていない。井戸6基、溝11条、土坑31基、小穴12基を検出した。本区の西端地は旧微高地であり、この周辺から井戸が検出されるなど集落域の可能性はあったが圃場整備の掘削により遺構は確認されていない。

III 検出された遺構と遺物

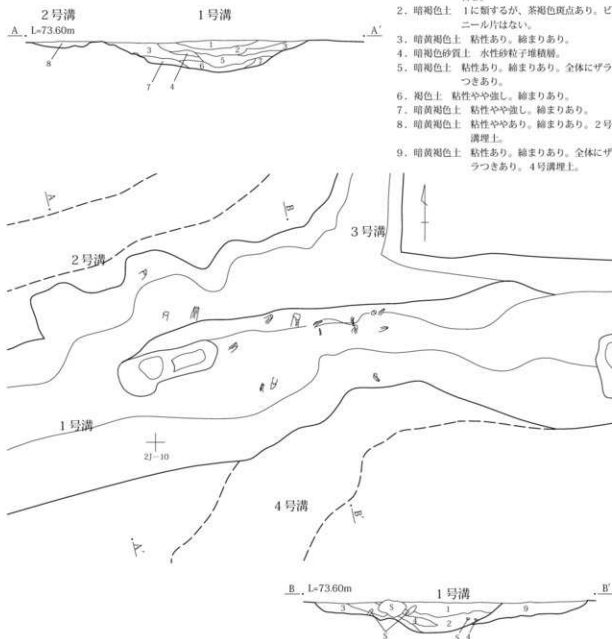
1 上新田新田西遺跡1区

1号溝

1区中央に位置し、92K L20・2H～L9～15の範囲にある。溝は南東方向に走り、幅210～285cm、深さ36cmを測る。

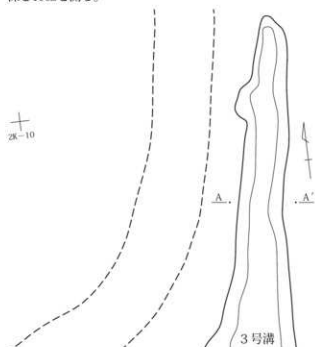
2号溝

1区中央に位置し、2H～N9～15の範囲にある。溝は南東に走り、南側に西に曲がり1号溝とほぼ並行する。幅70cm、深さ10cmを測る。



3号溝

1区中央に位置し、2JK9の範囲にある。溝は南北に走り、南端部で1号溝に合流する。幅45cm、深さ10cmを測る。



3号溝

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。全体にザラつきあり。

4号溝

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。全体にザラつきあり。
2. 褐色土 粘性ややあり。締まりやや弱し。全体にザラつきあり。
3. 暗黄褐色土 粘性やや強し。締まりあり。

5号溝

1区北東部に位置し、92H20・2H-M1~5の範囲にある。溝は南東に走り、幅100cm、深さ20cmを測る。

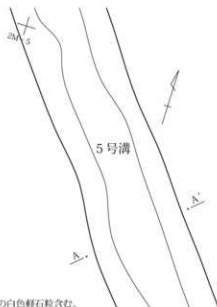
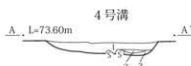
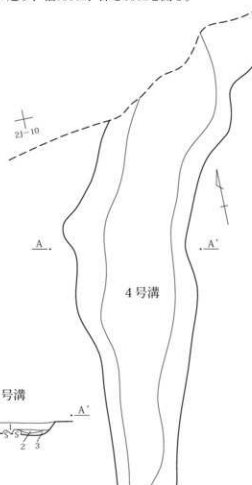


5号溝

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。径50mm以下の茶褐色ブロック。径1mm以下の白色軽石粒含む。
2. 暗褐色砂質土 A-S-B純層。

4号溝

1区中央に位置し、2H19の範囲にある。溝は南北に走り、幅120cm、深さ16cmを測る。



第5図 3・4・5号溝 (1:40)

Ⅲ 検出された遺構と遺物

6号溝

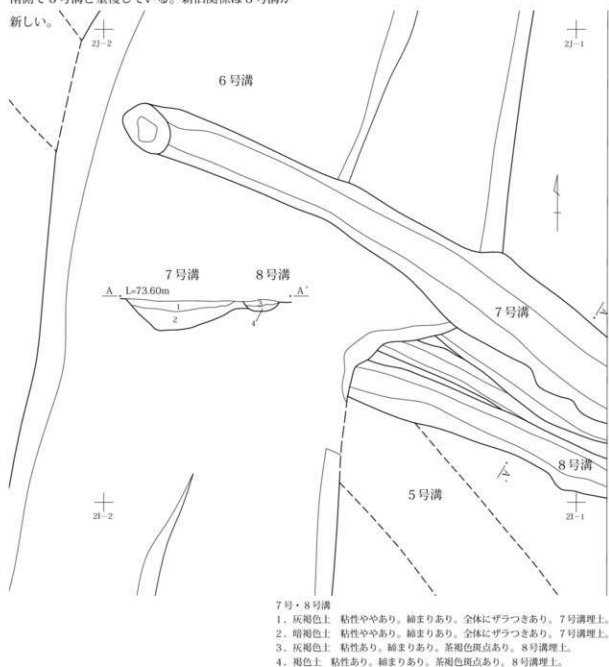
1区東部に位置し、92K20・2E～K1～2の範囲にある。溝は南北に走り北端部で1号溝と合流する。新旧関係は6号溝が新しい。幅70cm、深さ28cmを測る。

7号溝

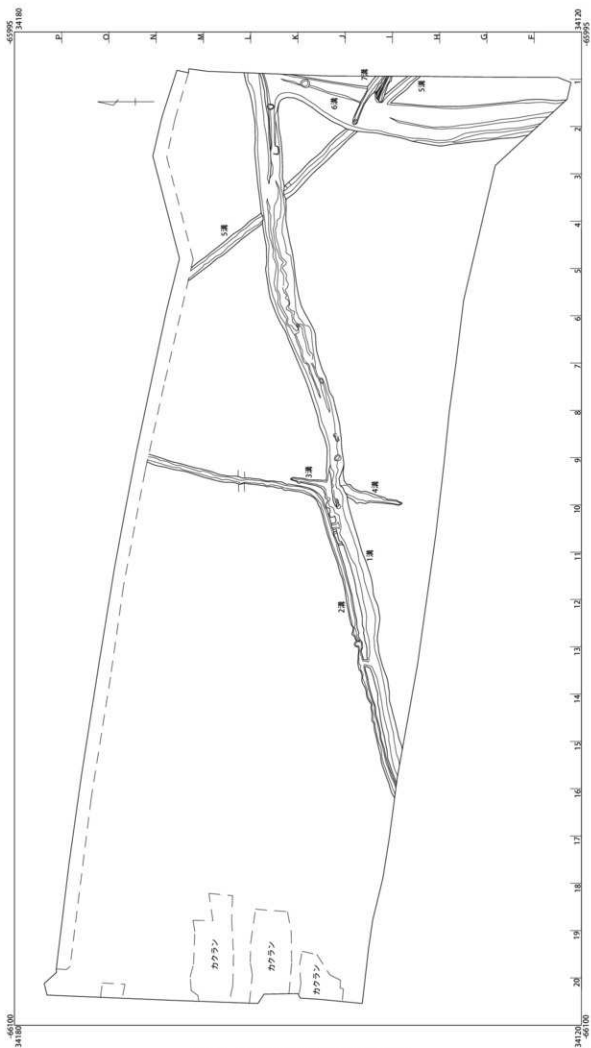
1区東部に位置し、92I20・2I1の範囲にある。溝は南東方向に走り、幅140cm、深さ28cmを測る。南側で8号溝と重複している。新旧関係は8号溝が新しい。

8号溝

1区東部に位置し、92I20・2I1の範囲にある。溝は南東に走り、幅40cm、深さ18cmを測る。北側で7号溝と重複する。新旧関係は8号溝が新しい。



第6図 6・7・8号溝 (1:40)



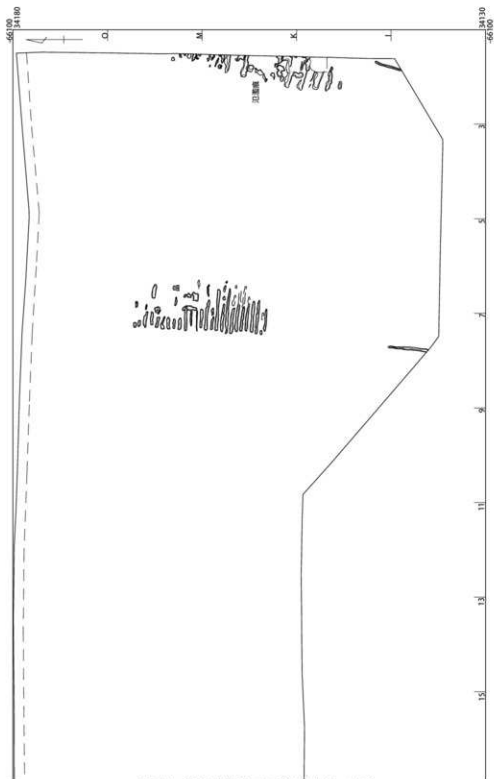
第7図 新田西遺跡1区全体図(1:400)

Ⅲ 検出された遺構と遺物

2 上新田新田西遺跡Ⅱ区1面

Ⅱ区一面は圃場整備、それ以前の洪水等でAs-A軽石面が一部で確認され、復旧溝が確認され、東端部には氾濫の痕跡が確認されている。

As-A軽石が確認された復旧溝は12KM6～8の範囲に一部確認することができた。また東端部の氾濫跡は12I～M1・2の範囲にある。



第8図 新田西遺跡Ⅱ区1面全体図(1:400)

3 上新田新田西遺跡Ⅱ区2面

As-B軽石混土面を確認した。

1号土坑

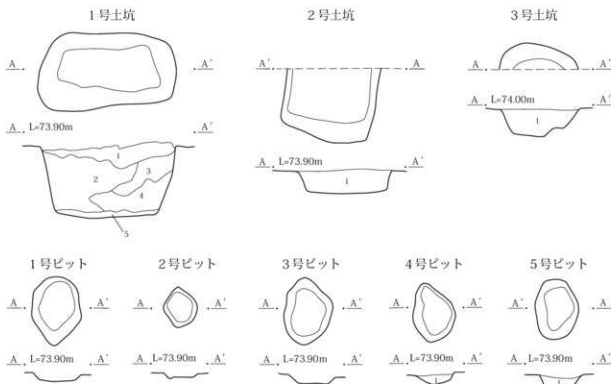
Ⅱ区東部に位置し、12K 5の範囲にある。形状は楕円形を呈し、146×89cm、深さ78cmを測る。

2号土坑

Ⅱ区北部に位置し、12P 11の範囲にある。北半部は調査区外にのびる。幅100cm、深さ27cmを測る。

3号土坑

Ⅱ区西北部に位置し、12P 17の範囲にある。調査区外に延び一部を確認した。深さは30cmを測る。



1号土坑

1. 暗灰色粘質土ブロックと暗褐色土の混土 全体に暗灰色粘質土ブロックが広がり、その隙間に暗褐色土が見られる。
2. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。上層部では長径150mm以下の暗灰色粘質土ブロックが散見。
3. 淡黄褐色粘質土ブロックと暗褐色土の混土 全体に淡黄褐色粘質土ブロックが広がり、その隙間に暗褐色土が見られる。
4. 灰色粘質土 粘性強し。締まり強し。
5. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。全体にザラつきがある。

2号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径5mm以下のAs-B軽石粒を含み、ザラつきがある。いわゆるB混。

3号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径5mm以下のAs-B軽石粒を含み、ザラつきがある。いわゆるB混。

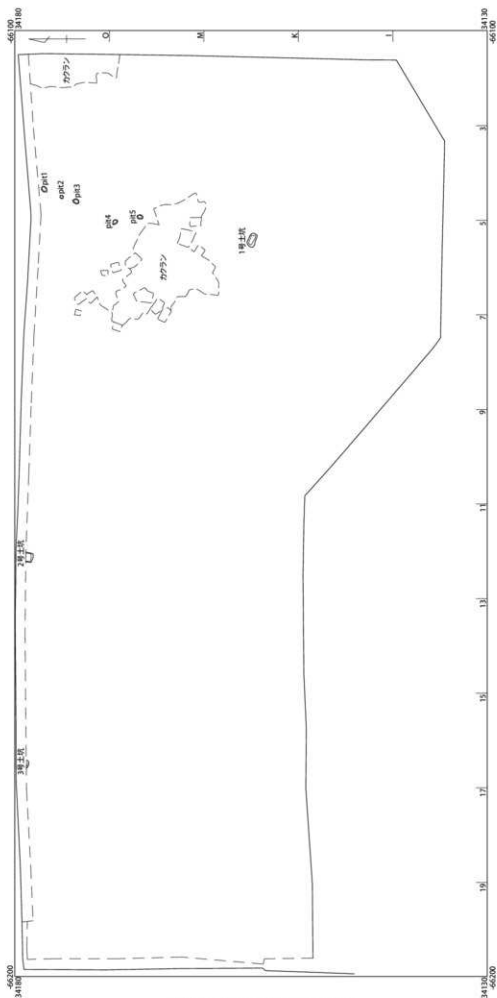
4号ピット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径5mm以下のAs-B軽石粒を含み、ザラつきあり。いわゆるB混。

5号ピット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径5mm以下のAs-B軽石粒を含み、ザラつきあり。いわゆるB混。

第9図 Ⅱ区2面 1・2・3号土坑、1・2・3・4・5号ピット (1:40)



第10図 II区2面全体図 (1 : 400)



第11图 V区全体图 (1 : 300)

III 検出された遺構と遺物

4 上新田新田西遺跡 V区

1号住居跡

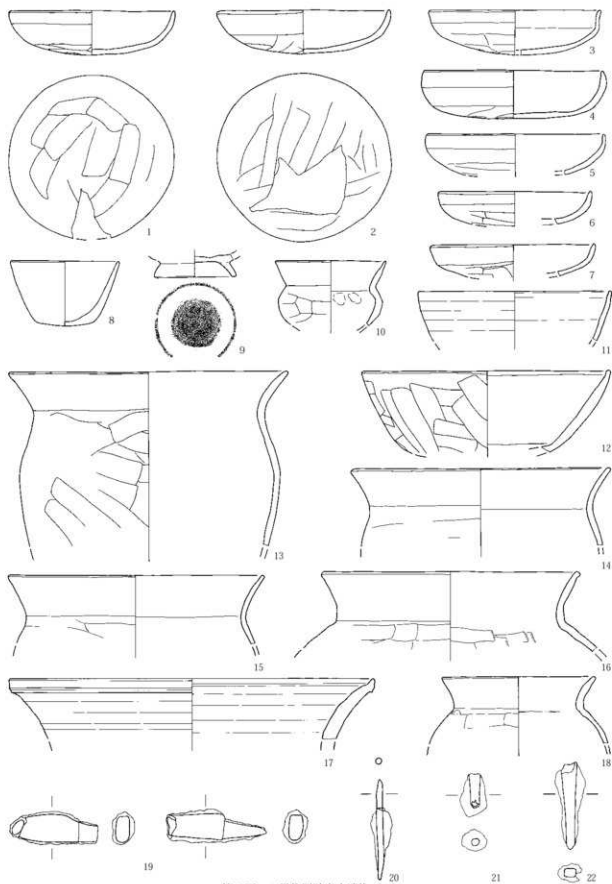
V区中央部に位置し、32K L13・14の範囲にある。形態は方形を呈し、床面はほぼ平坦面をなす。壁高は20～25cmを測る。柱穴は確認されていない。

竈は東壁南側に検出された。規模は東西軸50cm、軸幅60cmを測る。

遺物は床面東側、竈から出土し、奈良・平安時代と見られる。遺物の中に鉄器が含まれ刀子の可能性もある。

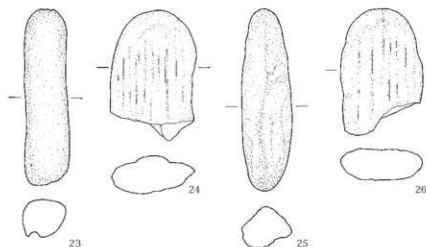


第12図 1号住居跡(1:60)



第13图 1号住居跡出土遺物(1)

Ⅲ 検出された遺構と遺物

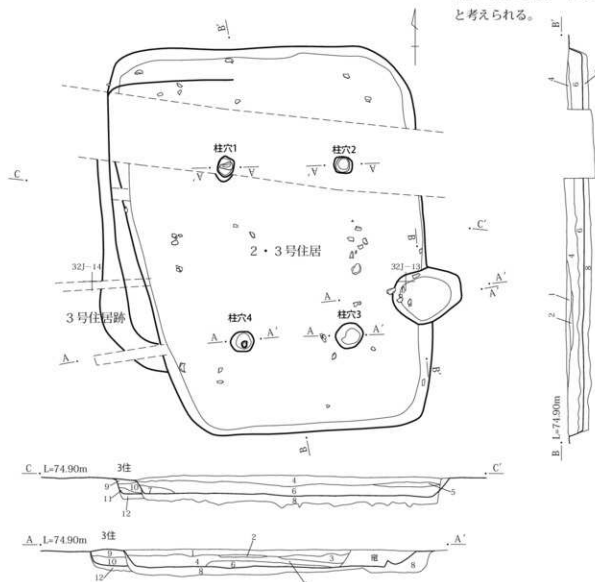


第14図 1号住居跡出土遺物(2)

2・3号住居跡

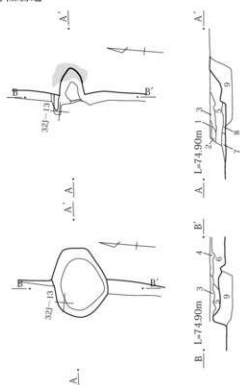
V区中央に位置し、321 J 12・13の範囲にある。床面は平坦をなし柱穴は4基礎認められ、1～4とした。規模は1、径30cm、深さ30cm、2、径23cm、深さ30cm、3、径45cm、深さ48cm、4、径38cm、深さ48cmを測る。

竈は東壁南側に確認され、規模は長軸60cm、袖幅30cmを測る。遺物は奈良・平安時代と考えられる。



第15図 2・3号住居跡(1:60)

2号住居竈



柱穴1 L=74.50m
柱穴2 L=74.50m
柱穴3 L=74.70m
柱穴4 L=74.70m

2号住居内の柱穴1

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径7cmの褐色ブロックを含む。
2. 褐色土 粘性あり。締まりあり。ザラつきがある。
2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

2号住居内の柱穴2

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径3cm褐色ブロック、径2~3mmの茶褐色粒を含む。
2. 褐色土 粘性あり。締まりあり。ザラつきがある。径1cmの茶褐色ブロックを含む。
2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

2号住居内の柱穴3

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径1~2cmの茶褐色ブロック、径2cmの水褐色ブロックを含む。
2. 褐色土 粘性あり。締まりあり。ザラつきがある。
2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

2号住居内の柱穴4

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径1cmの褐色ブロックを含む。
2. 褐色土 粘性あり。締まりあり。ザラつきがある。
2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

2号・3号住居

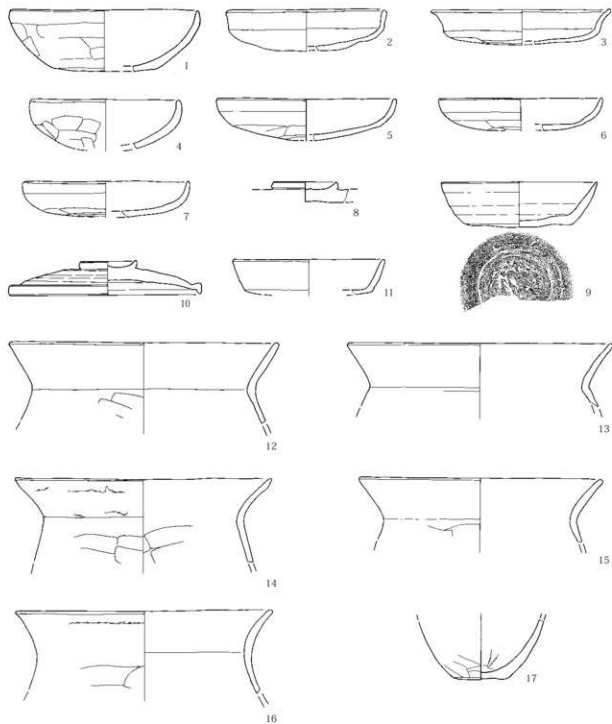
1. 暗褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。径5mm以下の焼土粒少量含む。径3mm以下の炭化物極少量含む。径1mm以下の白色軽石微量含む。
2. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。上位層との境界付近に3mm程度の厚さの灰黄褐色粘質土を部分的に含む。径2mm以下の焼土粒少量。径1mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石微量含む。
3. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径50mm以下の灰褐色粘質土ブロック多量。径5mm以下の焼土少量。径3mm以下の炭化物少量。径1mm以下の白色軽石微量含む。
4. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりやや弱し。径5mm以下の焼土粒少量。径3mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石極微量含む。
5. 暗褐色土 粘性あり。締まりややあり。径10mm以下の焼土粒少量。径2mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石微量含む。
6. 暗褐色土 粘性あり。締まりやや弱し。ロームが部分的にシミ状にやや多量混じる。径5mm以下の焼土少量。径2mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石極微量含む。
7. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりやや弱し。径4mm以下の焼土粒少量。径1mm以下の炭化物極少量。径1mm以下の白色軽石極微量含む。
8. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径80mm以下のロームブロックが多量に混じる。径1mm以下の白色軽石微量含む。掘り方。
9. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2mm以下の焼土粒少量。径1mm以下の炭化物極微量。径2mm以下の白色軽石微量含む。
10. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。ロームが部分的にシミ状に少量混じる。径2mm以下の焼土粒少量。径2mm以下の白色軽石微量含む。
11. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径20mm以下のロームブロックがやや多量に混じる。径1mm以下の白色軽石微量含む。
12. 3号住掘り方 粘性あり。締まりあり。径30mm以下のロームブロックが多量に混じる。径2mm以下の白色軽石微量含む。

2号住居竈

1. 暗褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。径3mm以下の焼土粒やや少量。径1mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石微量含む。住居覆土の1層。
2. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径10mm以下の白色軽石やや多量。径2mm以下の焼土粒やや少量。径2mm以下の炭化物やや少量。灰褐色粘質土シミ状と少量含む。住居覆土の3層と当たる。
3. 暗褐色土 粘性あり。締まりややあり。灰褐色粘質土シミ状にやや多量混じる。径4mm以下の焼土粒やや少量。径2mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石微量含む。
4. 暗褐色土 粘性やや弱し。締まりやや弱し。径3mm以下の白色軽石粒やや少量。径2mm以下の焼土粒微量。径1mm以下の炭化物微量含む。住居覆土の1層と相当。
5. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりやや弱し。径30mm以下の白色軽石の混じるロームブロックやや多量。径5mm以下焼土粒少量。径2mm以下の炭化物少量。
6. 竈5層にほぼ同じ。住居4層と同じ。
7. 暗褐色土 粘性あり。締まりやや弱し。ロームが部分的にシミ状にやや多量混じる。径5mm以下の焼土少量。径2mm以下の炭化物微量。径1mm以下の白色軽石極微量含む。
8. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2mm以下の焼土粒微量混じる。粉状の炭。全体に少量混じる。
9. 暗褐色土 粘性ややあり。径5mm以下のローム粒少量。径1mm以下の炭化物・白色軽石微量含む。掘り方。

第16図 2号住居跡竈・柱穴1・2・3・4 (1:60)

Ⅲ 検出された遺構と遺物



第17図 2号住居跡出土遺物



第18図 3号住居跡出土遺物

1号井戸

V区北部に位置し、32L14・15の範囲にある。形態は円形を呈し、径100cm、深さ66cmを測る。

2号井戸

V区北部に位置し、32L15の範囲にある。形態は楕円形を呈し、110cm×90cm、深さ120cmを測る。南側に接して3号土坑がある。

3号井戸

V区中央部に位置し、32K13の範囲にある。形態は楕円形を呈し、160cm×130cm、深さ145cmを測る。

4号井戸

V区西北部に位置し、32J14の範囲にある。形態は円形を呈し、径70cm、85cmを測る。

5号井戸

V区西北部に位置し、32J K15の範囲にある。形態は円形を呈し、径115cm、深さ150cmを測る。

6号井戸

V区東部に位置し、32J K11の範囲にある。形態は楕円形を呈し、90cm×75cm、深さ70cmを測る。

7号井戸

V区西部に位置し、32J14・15の範囲にある。形態は楕円形を呈し、165cm×125cm、深さ105cmを測る。東側に接して8号井戸がある。

8号井戸

V区西部に位置し、32J14の範囲にある。形態は楕円形を呈し、120cm×80cm、深さ105cmを測る。西側に接して7号井戸がある。

9号井戸

V区西部に位置し、32J14の範囲にある。形態は楕円形を呈し、145cm×125cm、深さ115cmを測る。

10号井戸

V区西部に位置し、32J14の範囲にある。形態は円形を呈し、径80cm、深さ90cmを測る。

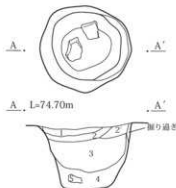
11号井戸

V区南東部に位置し、32J10の範囲にある。形態は楕円形を呈し、230cm×210cm、深さ125cmを測る。内壁に石組みが確認された。

12号井戸

V区南西部に位置し、32H114の範囲にある。形態は楕円形を呈し、130cm×120cm、深さ125cmを測る。

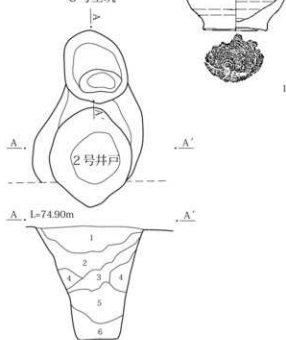
1号井戸



1号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質でザラザラした感触。径1~3cmの茶褐色ブロックをわずかに混入する。
2. 黒褐色土 灰色味を帯びているのは1の砂質土を含むむれと黒褐色土のブロックが混入している。1と同様、茶褐色土のブロックを混入する。
2. 黒褐色土 2層より黒褐色土ブロックが多く入り異味を増す。
3. 暗褐色土 暗褐色の砂質土と2に見られる黒褐色土の小ブロック、小粒。これに茶褐色土の1cm前後の小ブロックが混入している。全体に砂質。
4. 黒褐色土を主体とした茶褐色土の小ブロックとの混土層
やや粘性あり。

3号土坑

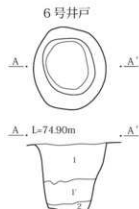


第19図 1・2号井戸 (1:40)、2号井戸出土遺物

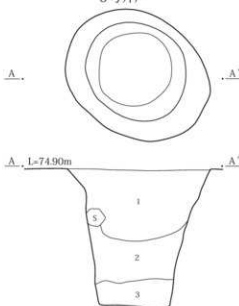
Ⅲ 検出された遺構と遺物

2号井戸

1. 暗褐色土 全体的に砂質でザラザラした感触が強い、径1～3mmの茶褐色ブロックをわずかに含む。
2. 暗褐色土 1同様全体的に砂質だがザラザラ感が弱い。
3. 黒褐色土 全体的に砂質だが粘性がやや強く、締まりもややある。
4. 黒褐色土 黒褐色の砂質上中に径3～5cmのロームブロックが混入する。粘性やや強い。
5. 黒褐色土 黒褐色の砂質上中に径1～2mmのロームブロックが混入する。粘性やや強い。
6. 黒褐色土を主体とした茶褐色土の小ブロックとの混上層 粘性やや強い。



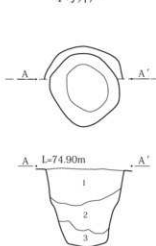
3号井戸



3号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質でザラつきあり。粘性ややあり。径3～5mmの茶褐色ブロックを含む。
2. 黒褐色土 全体に砂質でザラつきあり。粘性やや強し。径3～5mmの茶褐色ブロックを含む。
3. 黒褐色土を主体とした茶褐色土の小ブロックとの混上層 粘性やや強い。

4号井戸



4号井戸

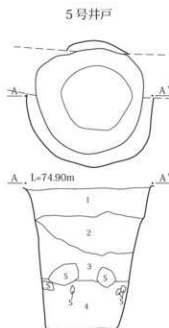
1. 暗褐色土と茶褐色ブロック混上層 全体に砂質でザラつきあり。径10～15cmの茶褐色ブロックを混入する。井戸を埋め戻す時に補充した土か。
2. 黒褐色土と茶褐色ブロック混上層 全体に砂質でザラつきあり。径2～5cmの茶褐色ブロックを混入する。1と同様井戸の埋め戻しに使った土か。
3. 茶褐色粘質土 埋戻し土最下層部。粘性強し。

5号井戸

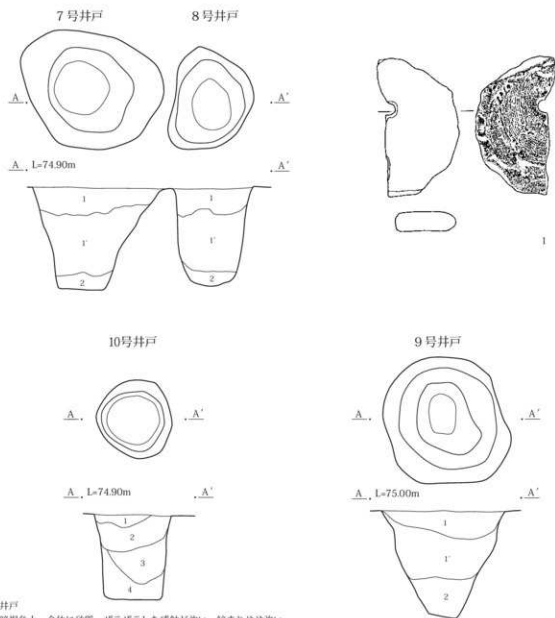
1. 暗褐色土 全体に砂質でザラつきあり。径3～10cmの茶褐色ブロックを含む。
2. 黒褐色土 全体に砂質でザラつきあり。粘性ややあり。径5～15cmの茶褐色ブロックを含む。
3. 黒褐色土を主体とした茶褐色の小ブロックとの混上層。粘性やや強い。
4. 黒褐色土 黒褐色の粘質上中に径1～2mmの茶褐色ブロックを含む。3層と比べブロックの粒は小さい。

6号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質でザラつき感がある。
1. 暗褐色土 全体に砂質であるが、1に比べザラつきが弱まり、粘性がややある。径10cmの茶褐色ブロックを含む。
2. 黒褐色土 粘性強し。径1～2mmの茶褐色ブロックを含む。



第20図 3・4・5・6号井戸 (1:40)



7号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラザラした感触が強い。締まりやや強い。
- 1'. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつき感がある。1に比べ粘性が強い。
2. 黒褐色土 粘性強し。締まりやや強い。

8号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラザラした感触が強い。締まりやや強い。
- 1'. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつき感がある。1に比べ粘性が強い。
2. 黒褐色土 粘性強し。締まりやや強い。

9号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラついている。茶褐色土。径1～5cmの茶褐色土ブロックを散見。
- 1'. 暗褐色土 1と同様、全体に砂質。茶褐色土の混入は見られなくなる。
2. 黒褐色土 粘性をやや帯びるものの締まりなし。炭化物の混入もほぼ見られない。

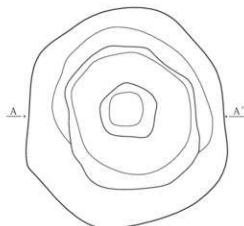
10号井戸

1. 暗褐色土 2より砂粒の混入は少なく締まりあり。
2. 暗褐色土 全体に砂質。茶褐色土の小ブロック。茶褐色土粒を全体にわたりまばらに含む。
3. 暗褐色土 2に類するが砂粒の混入さらに増す。茶褐色土の混入は少なくなる。
4. 暗褐色土 色調、混入物の割合は3と変わらないが砂粒は少なくなり、ザラつきはなくなる。

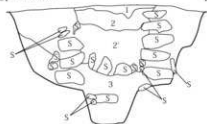
第21図 7・8・9・10号井戸(1:40)、8号井戸出土遺物

III 検出された遺構と遺物

11号井戸



A, L=74.90m A'



11号井戸

1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつきあり、茶褐色粒の混入が見られる。
2. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつきあり、締まりやや弱い。
- 2'. 暗褐色土 2に類するが、粘性があり、締まりがある。
3. 黒褐色土 粘性強い、水分を多く含む。

12号井戸

1. 暗褐色土 粘性ややあり、締まりややあり、ザラつきあり、径5mm以下の茶褐色粒、径1mm以下の白色軽石粒を含む。
2. 暗褐色土 粘性あり、締まりあり。1層に比べ水分を含む。
3. 暗褐色土 粘性強し、締まり強し。2層にも増して水分を含む。

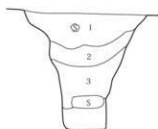
11号井戸石組み



12号井戸



A, L=74.90m A'



第22図 11・12号井戸 (1:40)

1号土坑

V区北部に位置し、32N14の範囲にある。形態は円形を呈し、径85cm、深さ6cmを測る。

2号土坑

V区西部に位置し、32J14の範囲にある。形態は楕円形を呈し、90cm×75cm、深さ45cmを測る。

3号土坑

V区北部に位置し、32L15の範囲にある。形態は楕円形を呈し、80cm×65cm、深さ55cmを測る。北側に接して2号井戸がある。

5号土坑

V区西南部に位置し、32I10の範囲にある。形態は楕円形を呈し、110cm×100cm、深さ50cmを測る。

6号土坑

V区南部に位置し、32H11・12の範囲にある。形態は楕円形を呈し、95cm×75cm、深さ60cmを測る。南半分で1号溝と重複し、壊されている。

7号土坑

V区南部に位置し、32H11・12の範囲にある。形態は楕円形を呈し、135cm×75cm、深さ80cmを測る。北半分で1号溝と重複し、壊されている。

8号土坑

V区南部に位置し、32H10の範囲にある。形態は円形を呈し、径120cm、深さ65cmを測る。北側に接して11号土坑がある。

9号土坑

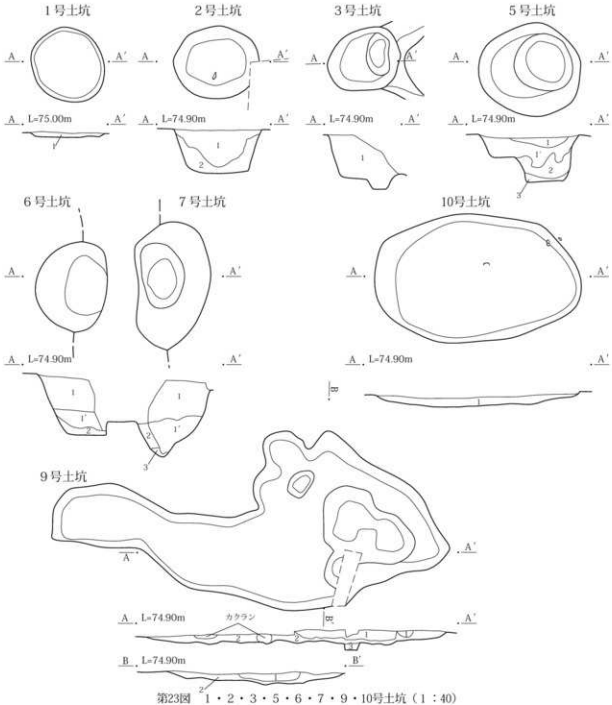
V区南部に位置し、32I11・12の範囲にある。形態は不定形で東西長は400cm、南北長200cm、深さ6～15cmを測る。

10号土坑

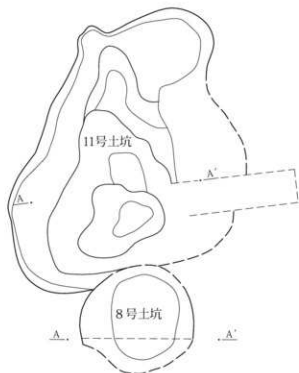
V区南東部に位置し、32G9の範囲にある。形態は楕円形を呈し、220cm×145cm、深さ8cmを測る。

11号土坑

V区南部に位置し、32H10の範囲にある。形態は不定形で、南北長270cm、東西長約250cm、深さ65cmを測る。



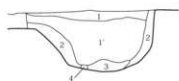
Ⅲ 検出された遺構と遺物



8号土坑
A-A', L=74.90m



11号土坑
A-A', L=74.90m



1号土坑

1. 暗褐色土 全体に砂質でザラザラした感触が強い。

2号土坑

1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつきがある。上層部には径2～5cmの茶褐色ブロックの混入が見られる。下層部はそれが見られない。

2. 黒褐色土 全体に砂質だがザラつきは弱い。粘性がやや強い。東下端部に径10cmの茶褐色ブロックの混入が見られる。

3号土坑

1. 暗褐色土 粘性やや強し。締まりやや強い。

5号土坑

1. 黒褐色土 全体に砂質、ザラつきあり。粘性やや弱い。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

1'. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

2. 褐色土 粘性あり。締まりあり。

3. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。

6号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。

1'. 暗褐色土 1に類するが径2～3cmの茶褐色ブロックの混入が見られる。

2. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。

7号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。

1'. 暗褐色土 1に類するが、1に比べ粘性が強く、水分を含む。

2. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。

3. 灰褐色シルト 粘性強し。締まりあり。

8号土坑

1. 暗褐色土 粘性弱し。締まりあり。径1cmまでの茶褐色ブロックがまんべんなく混入している。

2. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

9号土坑

1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径50m以下の焼土ブロック、径5mm以下の炭化物を含む。

2. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。

3. 暗褐色土 2に類するが、締まり増す。

10号土坑

1. 暗褐色土 粘性弱し。締まりややあり。ややザラつきがある。径20mm以下の茶褐色ブロック、径1mm以下の白色軽石粒を含む。

11号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径5mm以下の茶褐色粒を含む。

1'. 暗褐色土 1に類するが締まり増す。茶褐色粒はあまり見られず。

2. 暗褐色土と茶褐色土の混土

3. 暗褐色土と暗灰色土の混土

4. 暗灰色ブロック 粘性強し。締まり強し。

第24図 8・11号土坑 (1:40)

1号溝

V区南東部に位置し、32GH10～13の範囲にある。溝は北へふくらんで東西走る。幅80cm、深さ48cmを測る。

2号溝

V区南東部に位置し、32GH7～11の範囲にある。溝は南西に走り、幅75cm、深さ30～50cmを測る。

3号溝

V区南東部に位置し、32GH～7・8の範囲にある。溝は南西に走り、幅70cm、深さ50cmを測る。東側で4号溝と重複する。新旧関係は4号溝が新しい。

4号溝

V区南東部に位置し、32GH7・8の範囲にある。溝は南西に走り、幅60cm、深さ30cmを測る。西側で3号溝と重複する。新旧関係は4号溝が新しい。

5号溝

V区南東部に位置し、32G8の範囲にある。溝は南西に走り、東側6号溝西側で4号溝と重複する。新旧関係は4・6号溝より古い。

6号溝

V区南東部に位置し、32GH7・8の範囲にある。溝は南西に走り東側が完掘されていないため幅、深さは不明である。残存部では深さ30cmを測る。西側で5号溝と重複する。新旧関係は6号溝が新しい。

7号溝

V区南東部に位置し、32GH8～12の範囲にある。溝は東西に走り東部で南に屈曲する。幅85cm、深さ10cmを測る。

8号溝

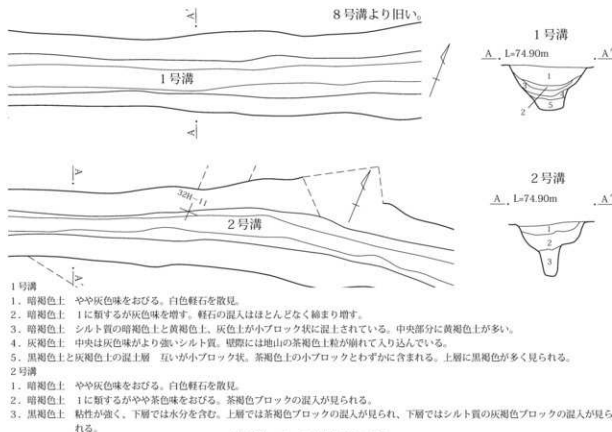
V区南東部に位置し、32GH8の範囲にある。溝は南に走り、幅23cm、深さ20cmを測る。

9号溝

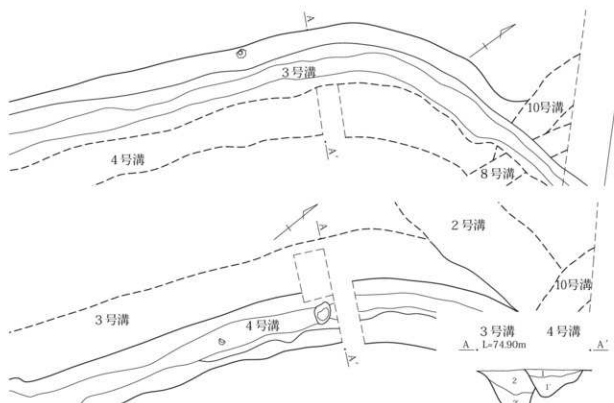
V区南東部に位置し、32G9・10の範囲にある。溝は東西に走り、幅27cm、深さ8cmを測る。

10号溝

V区南東部に位置し、32H8の範囲にある。溝は南北に走り、幅38cm、深さ26cmを測る。2・4・8号溝と重複し、新旧関係は2・4号溝より新しく、8号溝より古い。



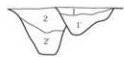
III 検出された遺構と遺物



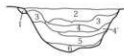
3号・4号溝

1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1cmの茶褐色ブロックを含む。
1. 暗褐色土 1に類するが、径2cmほどの茶褐色ブロックの混入が多く見られる。
2. 暗褐色土 粘性があり。締まりあり。ややザラつきがある。1or 1'に見られる茶褐色ブロックの混入は見受けられない。
2. 暗褐色土 1に類するが、下層部では黄灰色ブロック（地山）の混入が見られる。

3号溝 4号溝
A, L=74.90m

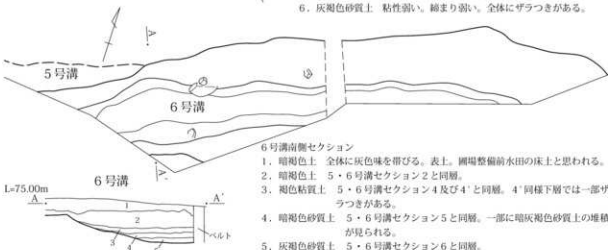


5号・6号溝
A, L=74.90m



5号・6号溝

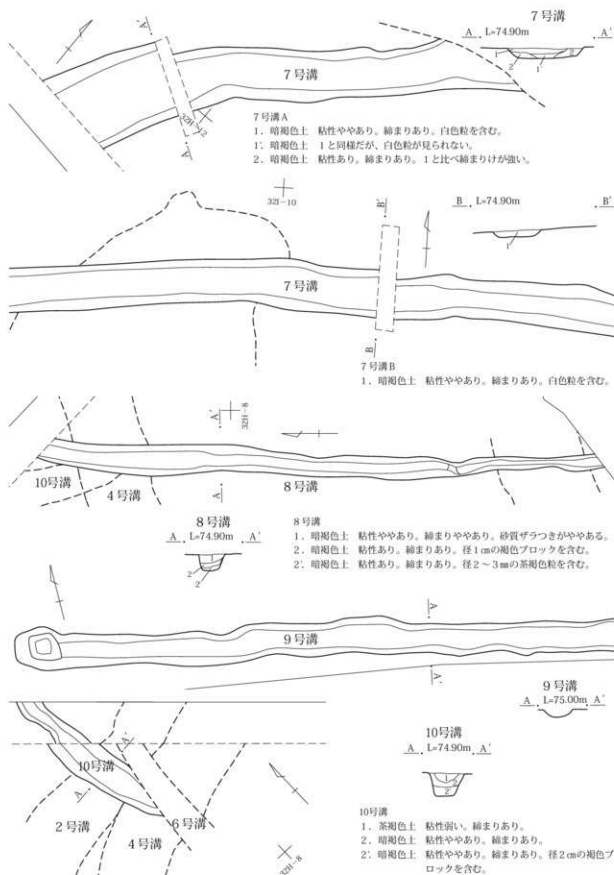
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。（5溝）
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mm以下の白色粒、径2mm以下の茶褐色粒を含む。
3. 暗褐色粘質土 粘性強し。締まり強し。
4. 褐色粘質土 粘性強し。締まり強し。
4. 褐色粘質土 4に類するがザラつきがある。
5. 暗褐色砂質土 粘性弱い。締まり弱い。全体にザラつきがある。
6. 灰褐色砂質土 粘性弱い。締まり弱い。全体にザラつきがある。



6号溝南側セクション

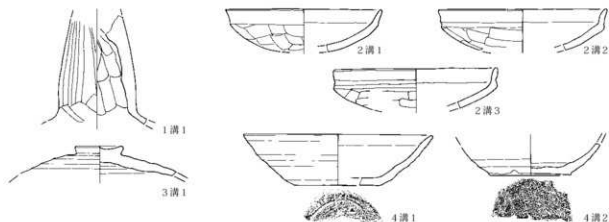
1. 暗褐色土 全体に灰色味を帯びる。表上。圃場整備前水田の床土と思われる。
2. 暗褐色土 5・6号溝セクション2と同層。
3. 褐色粘質土 5・6号溝セクション4及び4'と同層。4'同様下層では一部ザラつきがある。
4. 暗褐色砂質土 5・6号溝セクション5と同層。一部に暗灰褐色砂質土の堆積が見られる。
5. 灰褐色砂質土 5・6号溝セクション6と同層。

第26図 3・4・5・6号溝 (1:40)

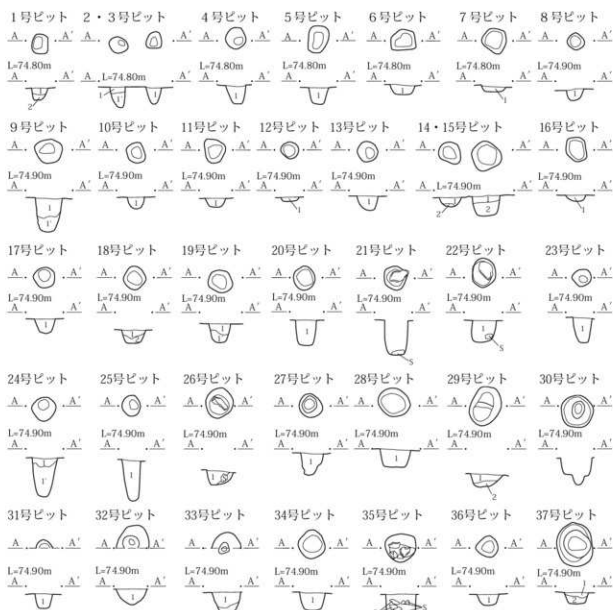


第27図 7・8・9・10号溝 (1:40)

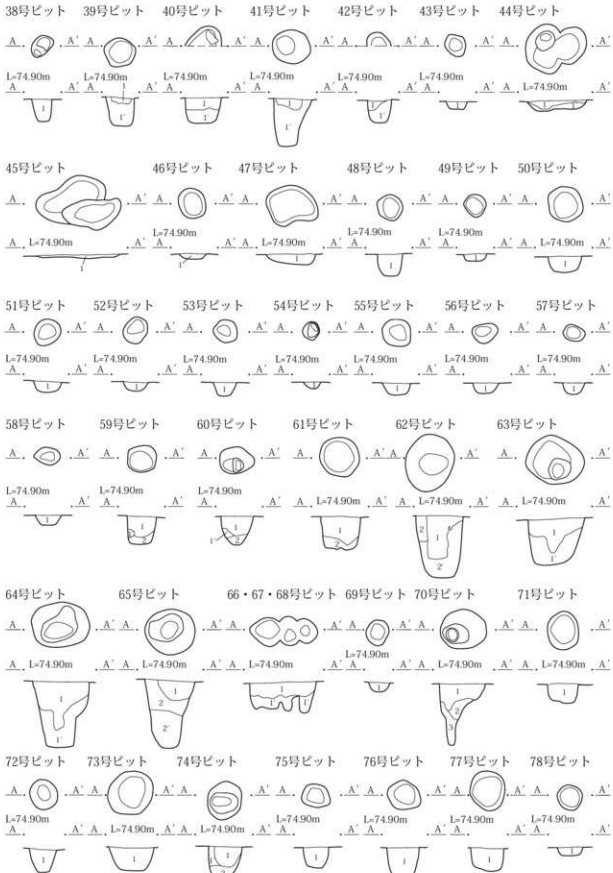
Ⅲ 検出された遺構と遺物



第28図 1・2・3・4号溝出土遺物

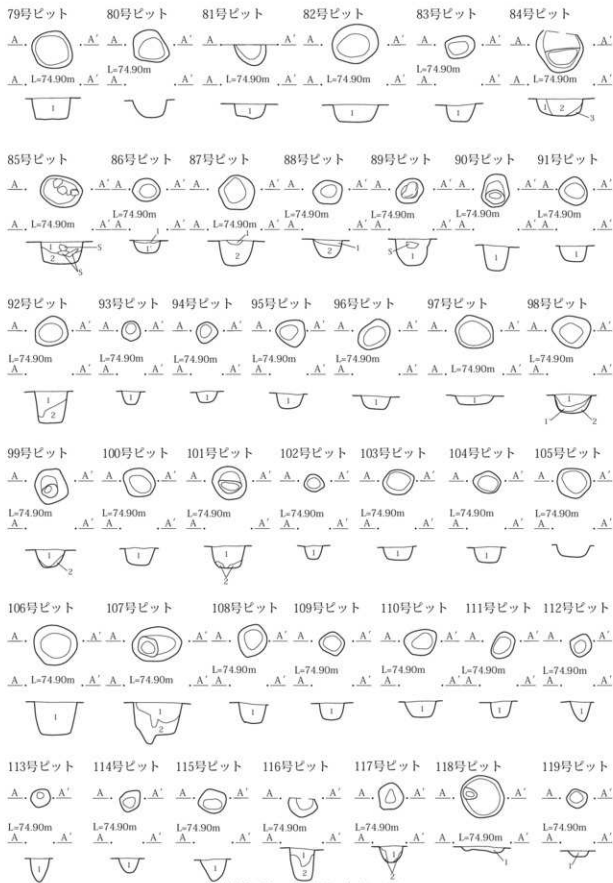


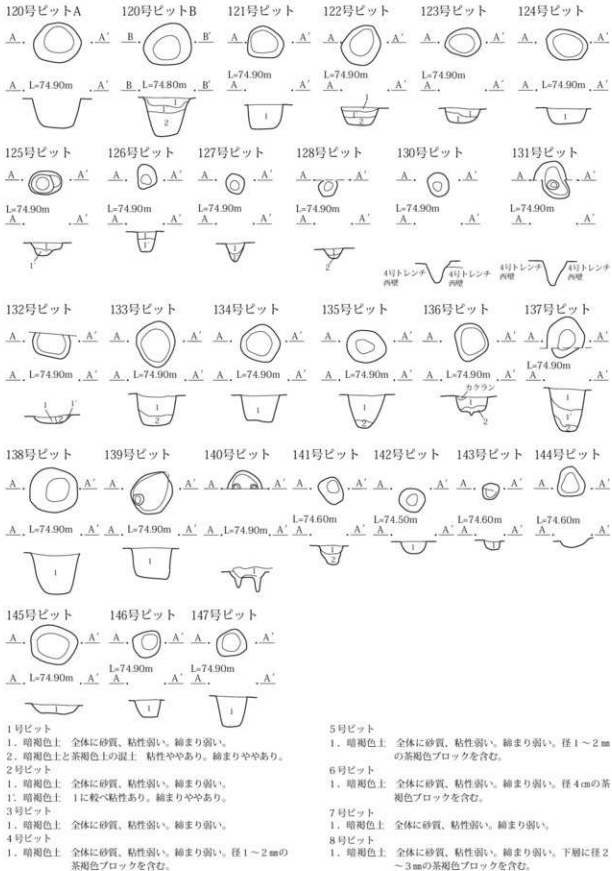
第29図 1～37号ピット (1:40)



第30図 38～78号ビット (1:40)

Ⅲ 検出された遺構と遺物





第32図 120~128・130~147号ビット (1:40)

59号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

1: 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径6cmの茶褐色ブロックを含む。

2. 茶褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

60号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

1: 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径7cmの茶褐色ブロックを含む。

2. 茶褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

61号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2～3mmの茶褐色土を含む。

2. 暗茶褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

62号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2～3mmの茶褐色土を含む。

2. 暗茶褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2～4cmの茶褐色ブロックを含む。

2: 暗茶褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。2に見られるブロックの混入は見られず。

63号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

1: 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1～2cmの茶褐色ブロックを含む。

64号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。

1: 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2～3cmの茶褐色ブロックを含む。

65号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。

2. 黒褐色土と茶褐色土の混土 粘性ややあり。締まりややあり。

2: 黒褐色土と茶褐色土の混土 粘性ややあり。締まりややあり。2と比べ黒褐色土の割合が多い。

66・67・68号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

1: 黒褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

69号ビット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

70号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

2. 黒褐色土と茶褐色土の混土 粘性ややあり。締まりややあり。

3. 茶褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

71号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

72号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

73号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

74号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

1: 黒褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

2. 茶褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

75号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

76号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

77号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

78号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

79号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

81号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

82号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

83号ビット

1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

84号ビット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

2. 暗褐色土と黒褐色土の混土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

3. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

85号ビット

1. 暗褐色土 粘性やや強し。締まりややあり。径1～2cmの茶褐色ブロックを含む。

2. 黒褐色土 粘性強し。締まりやや強し。

86号ビット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。ザラつきあり。径1mmの白色粒を含む。

1: 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。

87号ビット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。

2. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

88号ビット

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。

2. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

89号ビット

1. 暗黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒あり。

90号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径3cmの茶褐色ブロックを含む。

91号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

92号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

93号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

94号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

95号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

96号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。下部部に径3cmの褐色ブロックあり。

97号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

98号ビット

1. 黒褐色土 やや砂質。ザラつきあり。径1mmの白色粒を含む。

1: 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

99号ビット

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。

Ⅲ 検出された遺構と遺物

- 100号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。
- 101号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。
2. 褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。
- 102号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 103号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。
- 104号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 106号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。下層部に茶褐色土の混入が見られる。
- 107号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒の混入あり。
2. 暗褐色土と茶褐色土の混土 粘性やや強し。締まりやや強し。
- 108号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。
- 109号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 110号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 111号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 112号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 113号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 114号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 115号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
- 116号ビット
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。ザラつきややあり。
2. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 117号ビット
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。
2. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 118号ビット
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 119号ビット
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 120号Bビット
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。ザラつきややあり。
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。
2. 黒褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。径2～3mmの茶褐色ブロックを含む。
- 121号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 122号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径2～3mmの赤褐色ブロックを含む。
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径4cmの茶褐色ブロックを含む。
2. 黒褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。
- 123号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mmの白色粒を含む。
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径3～4cmの茶褐色ブロックを含む。
- 124号ビット
1. 褐色土と暗褐色土の混土 粘性あり。締まりあり。
- 125号ビット
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。
1. 暗褐色土 粘性あり。締まりあり。径1cmの茶褐色ブロックを含む。
- 126号ビット
1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつきあり。粘性弱い。締まり弱い。
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 127号ビット
1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつきあり。粘性弱い。締まり弱い。
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 128号ビット
1. 暗褐色土 全体に砂質、ザラつきあり。粘性弱い。締まり弱い。
2. 褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 129号ビット
1. 黒褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し
2. 黒褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。径2～3cmの褐色ブロックを含む。
- 132号ビット
1. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。
2. 黒褐色土 粘性あり。かなり締まっている。
- 133号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
2. 黒褐色土と茶褐色土の混土 粘性ややあり。締まりあり。
- 134号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 135号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりあり。下層部に茶褐色ブロックが見られる。
2. 茶褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。
- 136号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりあり。
2. 茶褐色土 粘性やや強し。締まりやや強し。
- 137号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。
1. 黒褐色土 1に類するが締まり増す。
2. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 138号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。
139号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 140号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
- 141号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
2. 黒褐色土 1に類するが締まり増す。
- 142号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 143号ビット
1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。
- 145号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
146号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
147号ビット
1. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径1mmの白色粒を含む。

第3表 ビット計測表

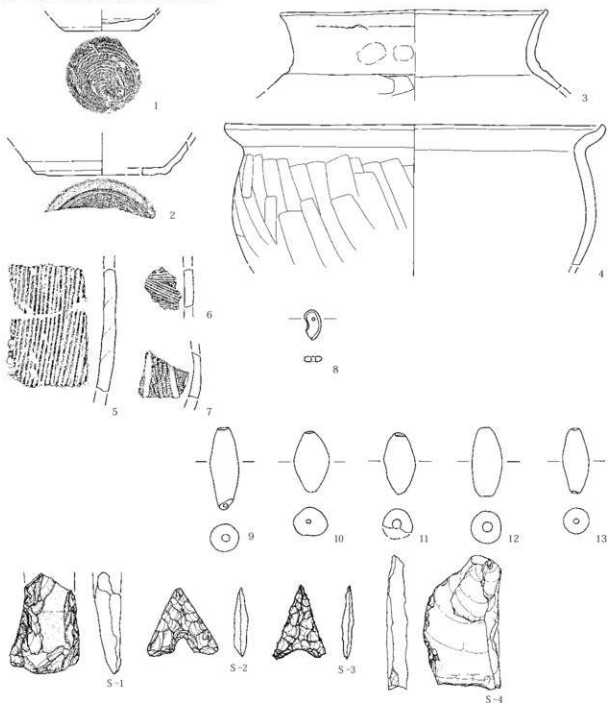
ビット番号	長径・深さ (cm)	グリッド
P 1	20・14	32M-16
P 2	18・22	32M-16
P 3	16・18	32M-16
P 4	22・20	32L-16
P 5	28・18	32L-16
P 6	24・10	32L-16
P 7	28・6	32L-16
P 8	30・12	32L-16
P 9	30・36	32L-16
P10	22・12	32L-16
P11	28・10	32L-16
P12	20・5	32L-16
P13	22・15	32L-16
P14	26・10	32L-16
P15	32・22	32L-16
P16	26・6	32L-16
P17	20・15	32L-16
P18	26・14	32L-16
P19	28・20	32L-16
P20	24・26	32L-16
P21	26(石)・36	32L-16
P22	32(石)・22	32L-16
P23	24・32	32L-15
P24	24・42	32L-16
P25	22・42	32L-15
P26	32(石)・16	32K-16
P27	26・24	32L-15
P28	30・20	32K-16
P29	42・14	32K-15
P30	34・30	32K-15
P31	18・16	32L-16
P32	34・16	32K-16
P33	30・36	32K-15
P34	30・18	32K-15
P35	32(石)・32	32K-15
P36	20・10	32K-15
P37	46・40	32K-15
P38	26・23	32K-15
P39	32・32	32K-15
P40	38(石)・26	32K-15
P41	40・50	32K-15
P42	26・24	32K-15
P43	26・8	32L-14
P44	63・12	32L-15
P45	90・4	32L-14
P46	32・6	32L-14
P47	58・12	32L-14
P48	28・22	32L-14
P49	23・8	32L-14
P50	40・18	32L-14

ビット番号	長径・深さ (cm)	グリッド
P51	30・10	32L-13
P52	28・9	32L-13
P53	26・14	32L-13
P54	18・7	32L-13
P55	33・12	32L-13
P56	26・11	32L-13
P57	22・12	32L-13
P58	30・10	32L-13
P59	32・30	32L-13
P60	36・30	32L-12
P61	44・36	32L-12
P62	60・66	32L-12
P63	62・48	32K-12
P64	60・70	32K-12
P65	52・74	32K-12
P66	36(石)・28	32K-12
P67	32・31	32K-12
P68	27・34	32K-12
P69	28・10	32K-12
P70	50・66	32K-12
P71	42・21	32K-12
P72	32・24	32K-12
P73	52・24	32K-12
P74	40・34	32K-12
P75	30・22	32K-11
P76	38・31	32K-11
P77	42・24	32K-11
P78	26・10	32K-11
P79	40・22	32K-11
P80	40・18	32K-12
P81	33・15	32K-11
P82	48・18	32K-11
P83	30・20	32K-11
P84	42(石)・18	32K-13
P85	45・23	32K-13
P86	29・13	32K-13
P87	36・27	32K-13
P88	31・20	32J-13
P89	29(石)・28	32J-13
P90	36・27	32J-12
P91	30・18	32J-12
P92	35・34	32J-12
P93	20・14	32J-12
P94	23・12	32J-12
P95	30・15	32J-12
P96	36・14	32J-12
P97	41・10	32J-11
P98	40・20	32J-11
P99	36・19	32J-11
P100	33・18	32J-11

ビット番号	長径・深さ (cm)	グリッド
P101	35・23	32J-11
P102	21・15	32J-11
P103	34・13	32J-11
P104	25・16	32J-11
P105	33・12	32J-10
P106	45・35	32J-10
P107	53・44	32J-10
P108	36・22	32J-10
P109	26・19	32J-10
P110	31・17	32J-10
P111	29・18	32J-10
P112	25・20	32J-10
P113	20・25	32J-10
P114	25・15	32J-10
P115	28・23	32J-10
P116	30・35	32M-13
P117	28・18	32M-13
P118	46・5	32M-13
P119	20・7	32M-13
P120a	50・40	32M-13
P120b	50・32	32I-14
P121	40・25	32I-12
P122	43・19	32I-14
P123	37・18	32I-14
P124	42・16	32I-14
P125	34・14	32I-14
P126	25・21	32K-13
P127	21・20	32K-14
P128	20・10	32K-14
P129	欠番	
P130	25・24	32I-9
P131	42・26	32I-9
P132	40・9	32I-9
P133	47・33	32K-12
P134	42・29	32K-12
P135	42・36	32K-12
P136	38・20	32K-12
P137	43・45	32L-12
P138	50・42	32I-10
P139	44・33	32H-12
P140	38・20	32I-9
P141	29・21	32J-13
P142	27・13	32J-13
P143	17・10	32I-13
P144	30・20	32I-13
P145	48・10	32I-9
P146	29・19	32H-12
P147	32・31	32K-13

Ⅲ 検出された遺構と遺物

5 上新田新田西遺跡遺構外出土遺物



第33図 新田西遺跡遺構外出土遺物

新田西遺跡石器所見

打製石斧 1・石鏃 2・削器 1・加工痕ある剥片 4・
使用痕ある剥片 2 が出土したほか、剥片 3 がある。
打製石斧に細粒輝石安山岩を、石鏃にチャートを、
剥片類に黒色頁岩を用いている。打製石斧および石

鏃は完成状態にあること、剥片類の黒色頁岩は全点
が異なる母岩より剥離されたもので、比較的形の
整う剥片類を選択的に遺跡に持ち込んでいることが
明らかである。

第4表 土師・須恵・土製品観察表

図版番号	種別	器形	区	遺構番号	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm	残存	胎土	色調	焼成	形・成調整等
13図1	土師器	杯	V	1	住居	13.0	-	3.5	ほぼ完形	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
2	土師器	杯	V	1	住居	13.6	-	3.4	底部一部欠損	細砂粒含む	にぶい赤褐	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
3	土師器	杯	V	1	住居	13.6	-	3.6	2/3	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
4	土師器	杯	V	1	住居	(14.0)	-	3.8	口～底部1/2	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
5	土師器	杯	V	1	住居	(14.0)	-	(3.2)	口縁部1/3	細砂粒含む	にぶい赤褐	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
6	土師器	杯	V	1	住居	(12.0)	-	(2.6)	口縁片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
7	土師器	杯	V	1	住居	(13.0)	-	-	口縁片	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
8	土師器	鉢	V	1	住居	8.6	4.4	5.1	口～底部2/3	細砂粒含む	にぶい黄橙	酸化	内外面へらで調整。
9	須恵器	椀	V	1	住居	-	6.5	(1.7)	高台部残	細砂粒含む	黄灰	還元	壺輪整形、付高台、底部回転で。
10	土師器	小型甕	V	1	住居	(8.8)	-	-	口縁～胴部	細砂粒含む	にぶい黄橙	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
11	須恵器	壺	V	1	住居	(15.2)	-	(3.9)	口縁片	砂粒含む	灰	還元	壺輪整形。
12	土師器	鉢	V	1	住居	(19.5)	-	(6.4)	杯部1/2	細砂粒含む	橙	酸化	内外面へらで調整。
13	土師器	甕	V	1	住居	22.0	-	(13.8)	口縁～胴部	細砂粒含む	明赤褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
14	土師器	甕	V	1	住居	(20.4)	-	(6.1)	口縁片	細砂粒含む	赤褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
15	土師器	甕	V	1	住居	(20.0)	-	(5.3)	口縁片	細砂粒含む	明赤褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
16	土師器	甕	V	1	住居	(20.0)	-	(6.3)	口縁片	砂粒含む	灰褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
17	須恵器	甕	V	1	住居	(28.6)	-	(4.8)	口縁片	砂粒含む	灰	還元	壺輪整形。
18	土師器	小型甕	V	1	住居	(12.0)	-	(5.3)	口縁片	細砂粒含む	にぶい赤褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
17図1	土師器	杯	V	2	住居	14.6	8.0	4.8	口縁～底部2/3	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
2	土師器	杯	V	2	住居	(12.4)	-	(3.2)	口縁～底部1/2	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
3	土師器	杯	V	2	住居	(24.0)	-	2.8	口縁～底部1/2	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
4	土師器	杯	V	2	住居	(12.0)	-	(3.7)	口縁部片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
5	土師器	杯	V	2	住居	(14.0)	-	(3.3)	口縁～底部1/4	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
6	土師器	杯	V	2	住居	12.8	-	(2.5)	口縁部	細砂粒含む	明赤褐	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
7	土師器	杯	V	2	住居	(13.0)	-	(2.8)	口縁～底部片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
8	須恵器	蓋	V	2	住居	つまみ径5.0	-	-	つまみ部	細砂粒含む	灰白	還元	壺輪整形。環状つまみ。
9	須恵器	杯	V	2	住居	(12.2)	(8.6)	3.5	1/2	細砂粒含む	灰白	還元	壺輪整形、付高台、底部回転で、底部回転で調整。
10	須恵器	蓋	V	2	住居	つまみ径4.5	15.2	2.7	ほぼ完形	砂粒含む	灰	還元	壺輪整形。環状つまみ。
11	土師器	杯	V	2	住居	(12.0)	-	(2.8)	口縁片	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
12	土師器	甕	V	2	住居	(21.0)	-	(6.3)	口縁片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
13	土師器	甕	V	2	住居	(20.2)	-	(5.0)	口縁片	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
14	土師器	甕	V	2	住居	(20.0)	-	(6.5)	口縁片	細砂粒含む	明赤褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
15	土師器	甕	V	2	住居	(19.0)	-	(5.0)	口縁片	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
16	土師器	甕	V	2	住居	(19.8)	-	(6.6)	口縁片	細砂粒含む	にぶい褐	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
17	土師器	甕	V	2	住居	-	(4.4)	(4.2)	底部	細砂粒含む	にぶい黄橙	酸化	口縁部内外面積で、胴部外面へら削り、内面で。
18図1	土師器	杯	V	3	住居	(13.0)	-	(2.3)	口縁片	細砂粒含む	にぶい赤褐	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。
2	土師器	杯	V	3	住居	(12.0)	-	-	口縁片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面積で、体部へらなどで、底部へら削り、内面で。

Ⅲ 検出された遺構と遺物

図版番号	種別	器形	区	遺構番号	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm	残存	胎土	色調	焼成	形・成調整等
199 1	須恵器	小甕	V	2	井戸	-	5.0	3.0	底部片1/2	細砂粒含む	橙	酸化	輪縁整形、底部回転糸切り。
219 1	須恵器	転用貯漕車	V	8	井戸	7.3	3.8	1.0		細砂粒含む	橙	酸化	輪縁整形、底部回転糸切り。
289 1	土師器	高杯	V	1	溝	-	-	(8.0)	脚部片1/2	砂粒含む	にぶい橙	酸化	外面へらなで調整後磨き、内面絞り込み痕。
1	土師器	杯	V	2	溝	12.4	-	3.3	口縁～底部1/2	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面横なで、体部へらなで、底部へら削り、内面なで。
2	土師器	杯	V	2	溝	13.4	-	(3.2)	口縁片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面横なで、体部へらなで、底部へら削り、内面なで。
3	土師器	杯	V	2	溝	13.0	-	(3.1)	口縁片	細砂粒含む	橙	酸化	口縁部内外面横なで、体部へらなで、底部へら削り、内面なで。
1	須恵器	蓋	V	3	溝	つまみ径3.8	-	-	1/2残	細砂粒含む	灰白	還元	輪縁整形。
1	須恵器	杯	V	4	溝	(15.0)	(6.0)	4.0	口縁～底部1/2	砂粒含む	灰白	還元	輪縁整形。
2	須恵器	杯	V	4	溝	-	(6.0)	(2.4)	底部1/2	砂粒含む	黄灰	還元	輪縁整形。
339 1	須恵器	杯	V	遺構外	-	6.0	(1.1)		底部	細砂粒含む	灰黄	還元	
2	須恵器	杯	V	遺構外	-	(10.0)	(2.0)		底部片1/3	細砂粒含む	にぶい黄橙	還元	
3	土師器	甕	V	遺構外	(21.0)	-	-	(6.0)	口縁片		にぶい橙	酸化	
4	土師器	甕	V	遺構外	(30.0)	-	-	(10.9)	口縁～脚部1/3		にぶい橙	酸化	口縁部内外面横なで、脚部外面へら削り。
9	土製品	土鉢	V	遺構外	4.3	直径1.5	孔径0.4		完形	細砂粒含む	にぶい黄橙	酸化	外面へらなで調整。
10	土製品	土鉢	V	遺構外	3.2	直径1.9	孔径0.2		完形	細砂粒含む	にぶい橙	酸化	外面へらなで調整。
11	土製品	土鉢	V	遺構外	3.3	直径1.7	孔径0.5		完形	細砂粒含む	にぶい赤褐	酸化	外面へらなで調整。
12	土製品	土鉢	V	遺構外	3.6	直径1.7	孔径0.5		完形	細砂粒含む	明赤褐	酸化	外面へらなで調整。
13	土製品	土鉢	V	遺構外	3.4	直径1.4	孔径0.3		完形	細砂粒含む	にぶい赤褐	酸化	外面へらなで調整。

縄文土器観察表

図版番号	種別	器形	区	遺構番号	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm	残存	色調	焼成
339 5	縄文土器	深鉢	V	遺構外	-	-	-	-	胴部片	橙	酸化
6	縄文土器	深鉢	V	遺構外	-	-	-	-	胴部片	明赤褐	酸化
7	縄文土器	深鉢	V	遺構外	-	-	-	-	胴部片	にぶい黄橙	酸化

金属製品観察表

図版番号	種別	区	遺構番号	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm
139 19	鉄製品	V	1	住居	4.7	1.3	1.2
20	鉄製品	V	1	住居	5.3	1.1	0.3
21	鉄製品	V	1	住居	2.2	1.3	1.1
22	鉄製品	V	1	住居	4.7	1.6	1.0

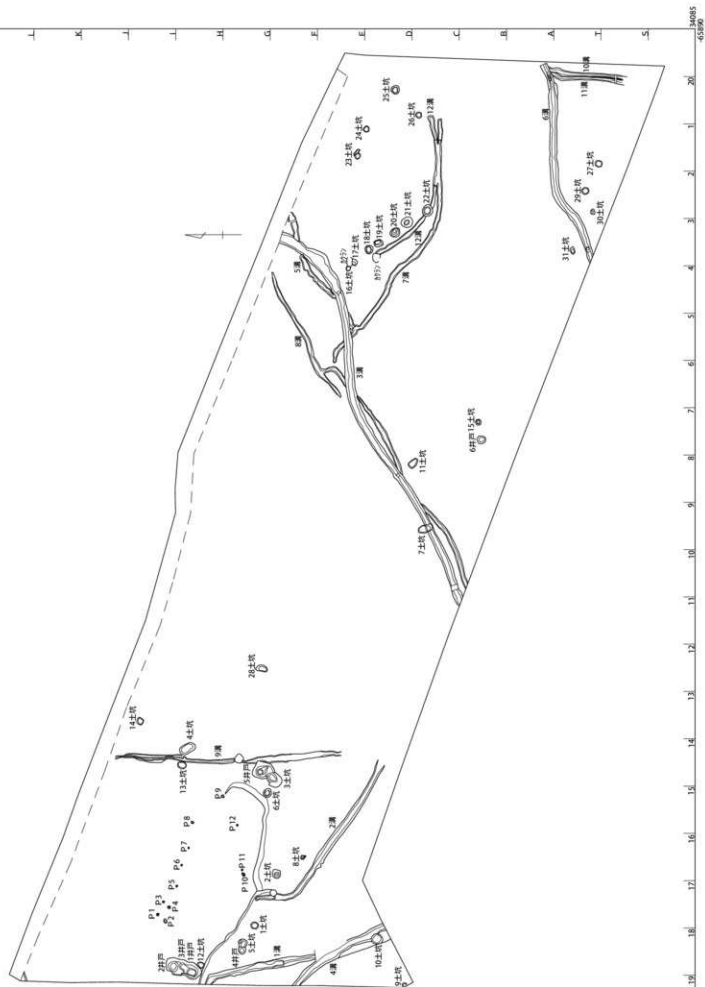
石製品(含砥石・石造物等)観察表

図版番号	種別	器形	区	遺構番号	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm
149 23	石	V	1	住居	13.9	3.7	3.2	
24	石	V	1	住居	10.3	6.8	3.0	
25	石	V	1	住居	14.3	3.8	3.2	
26	石	V	1	住居	10.0	6.5	2.3	
339 8	石製品	勾玉	V	遺構外	1.6	0.9	0.3	

石器観察表

図版番号	種別	器種	区	NO	出土位置	石材	長さ	幅	重量	備考
339 1	石器	打製石斧	V	K-12	細粒輝石安山岩	7.8	5.5	85.4		短冊形。上半部欠損。刃部に微かな磨耗。
2	石器	石 鏃	V	H-13	チャート	1.7	1.9	0.9		門基無葉縁。逆U字状に大きな抉り。完成状態。
3	石器	石 鏃	V	I-12	チャート	1.9	1.4	0.5		門基無葉縁。緑灰色を呈し、2と同質。
4	石器	削器	V	N-14	黒色頁岩	10.6	7.2	132.6		幅広剥片の無縁に浅い割縁を施す。シミ状の痕あり。
石器	加工痕ある剥片	V	1	住居	黒色頁岩	9.9	6.1	162.1		剥片端部裏面に粗い割縁を施す。
石器	加工痕ある剥片	V	2	住居	黒色頁岩	7.9	4.7	54.7		幅広剥片端部裏面に粗い割縁を施す。
石器	加工痕ある剥片	V	H-9	珪質頁岩	5.5	5.6	37.7			幅広剥片の裏面パルプ付近を割縁。加工痕不明。
石器	加工痕ある剥片	V	J-11	黒色頁岩	6.2	7.3	84.2			幅比路剥片端部を粗く割縁、刃部を作出。
石器	使用痕ある剥片	V	6	溝	黒色頁岩	6.1	4.5	37.9		幅広剥片の端部に小割縁痕が連続する。
石器	使用痕ある剥片	V	I-14	黒色頁岩	6.4	8.0	33.7			剥片端部の内面に小割縁痕が連続する。
石器	剥 片	V	2	住居	黒色安山岩	7.8	5.2	33.5		やや幅広の縦長剥片。右無縁は弧状のエッジを形成。
石器	剥 片	V	4	溝	珪質頁岩	6.0	6.8	77.5		背面側に腰面を大きく残す幅広剥片。
石器	剥 片	V	5	トレンチ	細粒輝石安山岩	7.2	8.4	59.0		剥片端部に長い弧状のエッジを有する幅広剥片。

上新田赤塚遺跡



第341图 赤塚道跡Ⅱ区全体图 (1:400)

1 検出された遺構と遺物

1 上新田赤塚遺跡Ⅱ区

1号井戸

Ⅱ区西部に位置し、92H18・19の範囲にある。形態は楕円形を呈し、100cm×70cm、深さ78cmを測る。

2号井戸

Ⅱ区西部に位置し、92H・I18の範囲にある。形態は円形を呈し、径110cm、深さ68cmを測る。

3号井戸

Ⅱ区西部に位置し、92H18・19の範囲にある。形態は円形を呈し、径100cm、深さ50cmを測る。

4号井戸

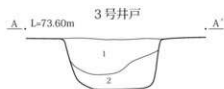
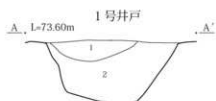
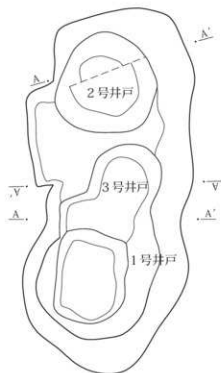
Ⅱ区西部に位置し、92G18の範囲にある。形態は楕円形を呈し、80cm×70cm、深さ88cmを測る。

5号井戸

Ⅱ区西部に位置し、92F・G14の範囲にある。形態は楕円形を呈し、140cm×100cm、深さ70cmを測る。

6号井戸

Ⅱ区西部に位置し、92F・G15の範囲にある。形態は楕円形を呈し、90cm×80cm、深さ70cmを測る。



1号井戸

1. 暗褐色土 茶褐色ブロック少量、茶褐色粒・黒褐色ブロック微量含む。
2. 暗褐色土 茶褐色粒少量含む。

3号井戸

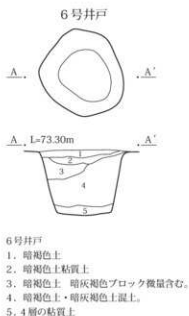
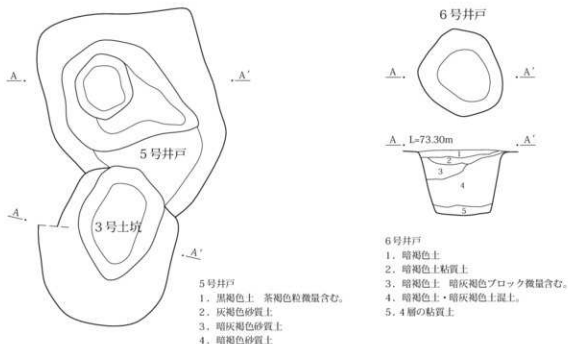
1. 暗褐色土 茶褐色ブロック少量、茶褐色粒・黒褐色ブロック微量含む。
2. 黒褐色土 地山の茶褐色ブロック含む。

4号井戸・5号土坑

1. 暗褐色土・茶褐色土混上、一括埋土。(4号井戸)
2. 暗褐色粘質土 茶褐色ブロック含む。

第35図 1・2・3・4号井戸、5号土坑(1:40)

I 検出された遺構と遺物



- 3号土坑
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。径100cm以下の茶褐色ブロック、径1mm以下の白石軽石粒微量含む。
 2. 褐色土 粘性あり。締まりあり。径1mm以下の白色粒微量含む。
 3. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

1号土坑

Ⅱ区西部に位置し、92G 17・18の範囲にある。形態は楕円形を呈し、80cm×70cm、深さ20cmを測る。

2号土坑

Ⅱ区西部に位置し、92F 16の範囲にある。形態は楕円形を呈し、100cm×80cm、深さ45cmを測る。

3号土坑

Ⅱ区部に位置し、92F・G 14・15の範囲にある。形態は楕円形を呈し、120cm×80cm、深さ45cmを測る。

4号土坑

Ⅱ区西部に位置し、92H 14の範囲にある。形態は楕円形を呈し、170cm×100cm、深さ28cmを測る。

5号土坑

Ⅱ区西部に位置し、92G 18の範囲にある。形態は円形を呈し、径100cm、深さ30cmを測る。

6号土坑

Ⅱ区西部に位置し、92F・G 15の範囲にある。形態は円形を呈し、径100cm、深さ45cmを測る。

7号土坑

Ⅱ区中央部に位置し、2C 7の範囲にある。形態は楕円形を呈し、160cm×80cm、深さ45cmを測る。

8号土坑

Ⅱ区西部に位置し、92F 16の範囲にある。形態は円形を呈し、径40cm、深さ45cmを測る。

9号土坑

Ⅱ区南西部に位置し、92D 19の範囲にある。形態は円形を呈し、径50cm、深さ25cmを測る。

10号土坑

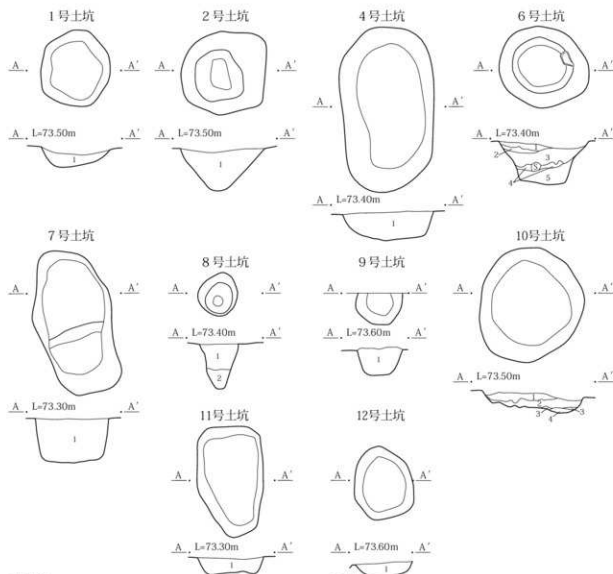
Ⅱ区南西部に位置し、92D 18の範囲にある。形態は円形を呈し、径110cm、深さ30cmを測る。

第36図 5・6号井戸、3号土坑 (1:40)

- 11号土坑
Ⅱ区中央部に位置し、92C・D 8の範囲にある。形態は楕円形を呈し、120cm×70cm、深さ18cmを測る。
- 12号土坑
Ⅱ区西部に位置し、92H18の範囲にある。形態は楕円形を呈し、75cm×60cm、深さ12cmを測る。
- 13号土坑
Ⅱ区西部に位置し、92H14の範囲にある。形態は楕円形を呈し、100cm×75cm、深さ12cmを測る。
- 14号土坑
Ⅱ区西北部に位置し、92 I 13の範囲にある。形態は円形を呈し、径70cm、深さ16cmを測る。
- 15号土坑
Ⅱ区中央部に位置し、92 B 7の範囲にある。形態は円形を呈し、径60cm、深さ20cmを測る。
- 16号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 E 4の範囲にある。形態は円形を呈し、径50cm、深さ16cmを測る。
- 17号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 E 3の範囲にある。形態は円形を呈し、径50cm、深さ16cmを測る。
- 18号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 D 3の範囲にある。形態は円形を呈し、径100cm、深さ30cmを測る。
- 19号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 D 3の範囲にある。形態は楕円形を呈し、100cm×70cm、深さ30cmを測る。
- 20号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 D 3の範囲にある。形態は楕円形を呈し、120cm×90cm、深さ30cmを測る。
- 21号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 C・D 2・3の範囲にある。形態は楕円形を呈し、130cm×110cm、深さ45cmを測る。

- 22号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 C 2の範囲にある。形態は楕円形を呈し、125cm×105cm、深さ55cmを測る。
- 23号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 E 1の範囲にある。形態は円形を呈し、径60cm、深さ25cmを測る。
- 24号土坑
Ⅱ区東部に位置し、92 D・E 1の範囲にある。形態は円形を呈し、径60cm、深さ10cmを測る。
- 25号土坑
Ⅱ区東部に位置し、82 D 20の範囲にある。形態は円形を呈し、径90cm、深さ40cmを測る。
- 26号土坑
Ⅱ区東部に位置し、82 C 20の範囲にある。形態は円形を呈し、径60cm、深さ20cmを測る。
- 27号土坑
Ⅱ区南東部に位置し、91 S・T 1の範囲にある。形態は円形を呈し、径70cm、深さ20cmを測る。
- 28号土坑
Ⅱ区西部に位置し、92 G 12の範囲にある。形態は楕円形を呈し、120cm×60cm、深さ15cmを測る。
- 29号土坑
Ⅱ区南東部に位置し、91 T 2の範囲にある。形態は円形を呈し、径70cm、深さ12cmを測る。
- 30号土坑
Ⅱ区南東部に位置し、91 T 2の範囲にある。形態は円形を呈し、径55cm、深さ18cmを測る。
- 31号土坑
Ⅱ区南東部に位置し、91 T 3の範囲にある。形態は楕円形を呈し、80cm×50cm、深さ20cmを測る。

1 検出された遺構と遺物



1号土坑

1. 暗褐色土 粘性やや弱し、締まりあり。径1mm以下の白石軽石粒含む。B混上。

2号土坑

1. 暗褐色土 粘性あり、締まりあり。長径200mm以下の茶褐色ブロック、径1mm以下の白色軽石粒含む。

4号土坑

1. 暗褐色土と茶褐色土の混上 粘性あり、締まりあり。埋戻し上。

6号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり、締まりややあり。径5mm以下の茶褐色色粒を微量含む。
2. 暗褐色土 1に類するが締まり増す。茶褐色粒はみられず。
3. 暗褐色土 粘性あり、締まりあり。全体にザラつきあり。径5mm以下の茶褐色色粒を少量含む。
4. 黒褐色土 粘性あり、締まりあり。
5. 暗褐色土 粘性あり、締まりあり。

7号土坑

1. 暗褐色土と暗灰褐色土の混上 粘性あり、締まりあり。

8号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり、締まりあり。全体ザラつきあり。
2. 暗褐色土 1に類する。粘性増す。ザラつきはない。

9号土坑

1. 暗褐色土 粘性あり、締まりあり。

10号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり、締まりあり。径4mm以下の白色軽石粒含む。A_s-A混か?
2. 暗褐色土 粘性あり、締まりあり。茶褐色土がまばらに見られる。上中の鉄分が酸化したのか。
3. 暗褐色土 2に類するが締まり増す。茶褐色土は見られない。
4. 暗灰褐色砂質土 粘性ややあり、締まりややあり。径20mm以下の茶褐色ブロックを含む。

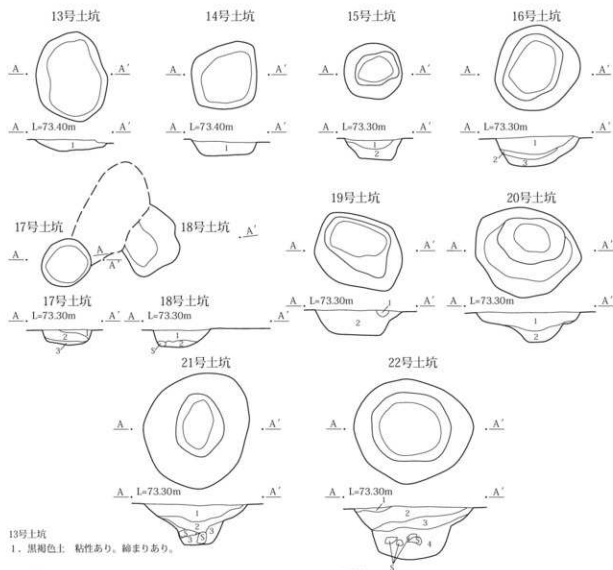
11号土坑

1. 暗褐色土 粘性弱し、締まり弱し。全体にザラつきあり。

12号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり、締まりややあり。

第37図 1・2・4・6・7・8・9・10・11・12号土坑 (1:40)



13号土坑

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

14号土坑

1. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

15号土坑

1. 褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。全体にザラつきあり。
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

16号土坑

1. 黒褐色土と灰褐色土の混土 粘性ややあり。締まりあり。
2. 灰褐色土 粘性ややあり。締まりあり。
3. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

17号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2mm以下の茶褐色粒を微量含む。
2. 茶褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。全体にザラつきあり。
3. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

18号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2mm以下の茶褐色粒を微量含む。
2. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

19号土坑

1. 茶褐色ブロック 粘性あり。締まりあり。
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径2mm以下の茶褐色粒を微量含む。

20号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりあり。径2mm以下の茶褐色粒を微量含む。
2. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

21号土坑

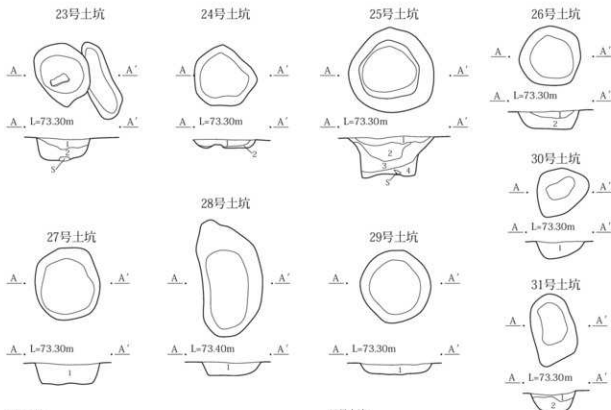
1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。径50mm以下の茶褐色ブロックを微量含む。
2. 黒褐色土と茶褐色土の混土 粘性あり。締まりあり。黒褐色土中に茶褐色土がブロック状に広がっている。
3. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

22号土坑

1. 褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。
2. 褐色土と茶褐色土の混土 粘性やや弱し。締まりややあり。
3. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
4. 黒褐色土 粘性あり。締まりあり。

第38図 13・14・15・16・17・18・19・20・21・22号土坑 (1:40)

I 検出された遺構と遺物



23号土坑

1. 褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

24号土坑

1. 褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

25号土坑

1. 褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
3. 黒褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
4. 茶褐色土 粘性あり。締まりあり。

26号土坑

1. 褐色土 粘性やや弱し。締まりややあり。
2. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

27号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

28号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

29号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

30号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。

31号土坑

1. 暗褐色土 粘性ややあり。締まりややあり。
2. 暗褐色砂質土 As-A堆積層。二次堆積か？

1号溝

Ⅱ区西部に位置し、92F～H18・19の範囲にある。溝は南北に走り、幅75cm、深さ26cmを測る。

2号溝

Ⅱ区西部に位置し、92D～H14～19の範囲にある。溝は南東に走り、幅80cm、深さ18cmを測る。

3号溝

Ⅱ区中央部に位置し、92B～F3～11の範囲にある。溝は南西に走り、幅75cm、深さ16cmを測る。

4号溝

Ⅱ区南東部に位置し、92D～F17～19の範囲にある。溝は南北に走り、幅60cm、深さ8cmを測る。

5号溝

Ⅱ区東部に位置し、92E F3・4の範囲にある。溝は南西に走り、幅80cm、深さ12cmを測る。

6号溝

Ⅱ区南東部に位置し、81S T19・20、82A19・20、91T A1～3、92A1・2の範囲にある。溝は南西に走り、幅70cm、深さ24cmを測る。

7号溝

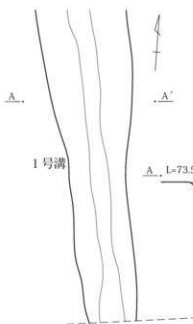
Ⅱ区東部に位置し、82C20、92C～E1～5の範囲にある。溝は南西に走り、幅34cm、深さ8cmを測る。

8号溝

Ⅱ区東部に位置し、92E・F3・4の範囲にある。溝は南西に走り、幅55cm、深さ8cmを測る。

9号溝

Ⅱ区西部に位置し、92E～I14の範囲にある。溝は南北に走り、幅30cm、深さ6cmを測る。



1号溝

1. 暗褐色土 B 軽石混土層、白色軽石粒含む。
2. 暗灰褐色粘質土 洪水堆積層。
3. 暗褐色土 白色軽石含む。
4. 暗褐色粘質土 白色軽石粒含むB 軽石混土。

2号溝

1. 暗褐色砂質土 As-A 混土層。
2. 暗黄褐色土
3. 暗褐色土
4. 暗灰褐色土 洪水堆積層。
5. 暗褐色土 白色軽石粒微量含む。
6. 暗褐色土・茶褐色土混土
(2号溝掘削以前の風倒木前)

10号溝

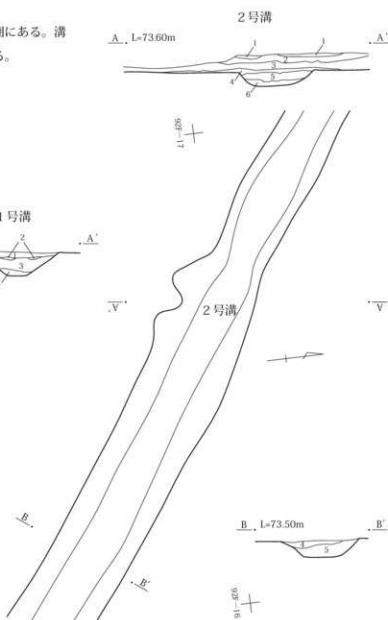
Ⅱ区南東部に位置し、81S・T20、82A20の範囲にある。溝は南北に走り、幅35cm、深さ4cmを測る。

11号溝

Ⅱ区南東部に位置し、81S・T20、82A20の範囲にある。溝は南北に走り、幅50cm、深さ6cmを測る。

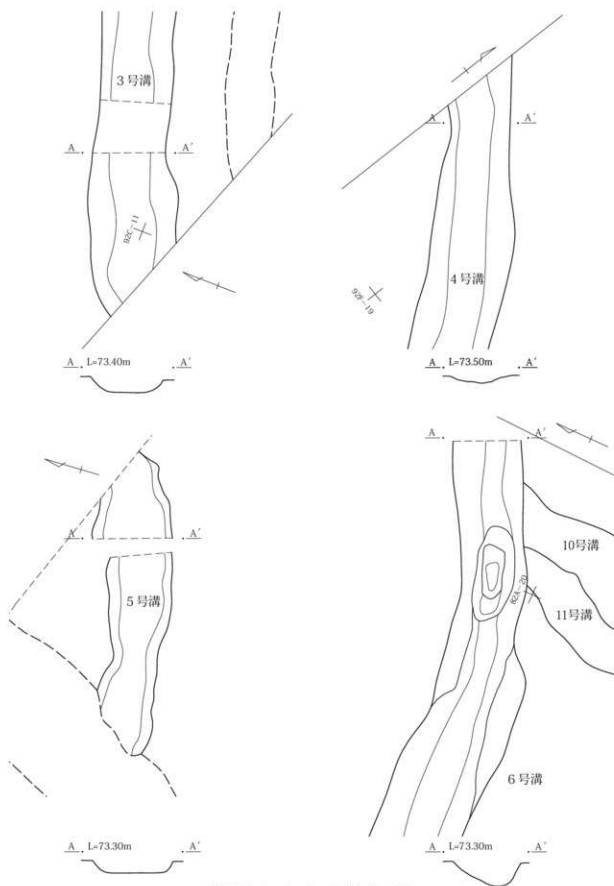
12号溝

Ⅱ区東部に位置し、82C20、92C～E1～5の範囲にある。溝は南東に走り、幅38cm、深さ8cmを測る。

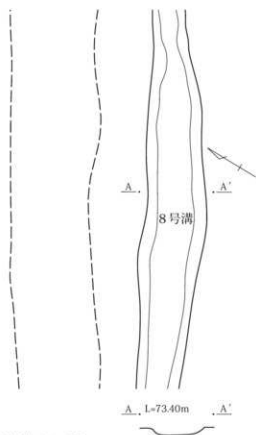
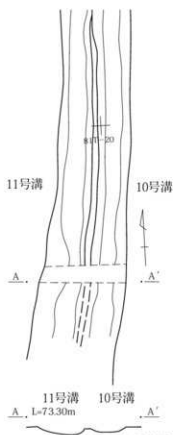
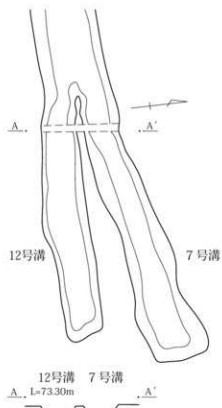
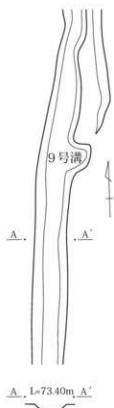


第40図 1・2号溝 (1:40)

1 検出された遺構と遺物

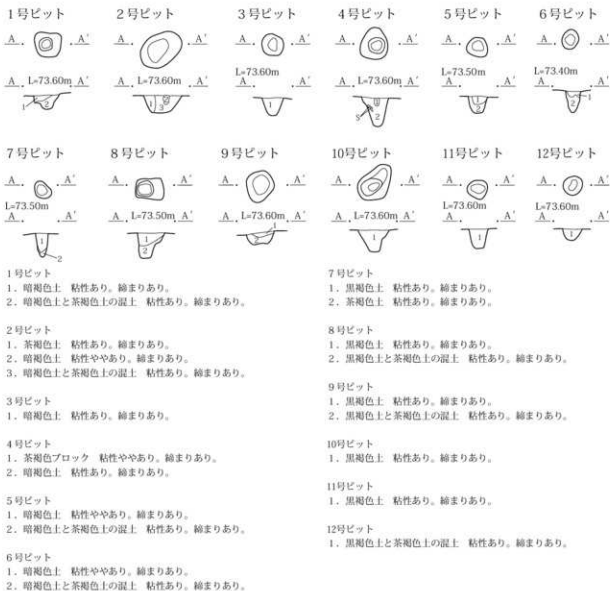


第41図 3・4・5・6号溝 (1:40)



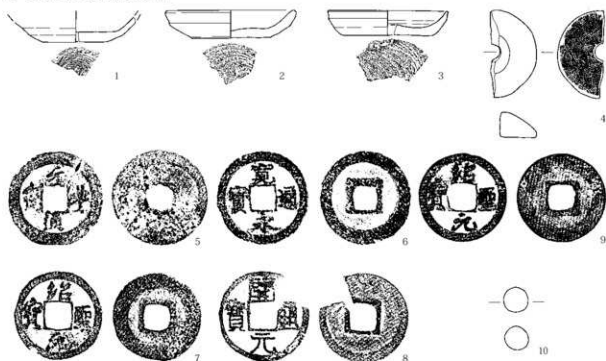
第42图 7・8・9・10・11・12号溝 (1:40)

1 検出された遺構と遺物



第43図 1～12号ピット (1:40)

2 上新田赤塚遺跡出土遺物



第44図 赤塚遺跡Ⅱ区溝・遺構外出土遺物

第5表 土師・須恵・土製品観察表

図版番号	種別	器形	区	面	遺構番号	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm	残存	胎土	色調	焼成	形・成調整等
44図1	須恵器	杯	Ⅱ		6	溝	-	5.0	(2.0)	口縁～底部1/4	細砂粒含む	灰白	還元	底部回転糸切り。
2		カワラケ	Ⅱ	Ⅱ		遺構外	10.0	6.0	2.2	口縁～底部1/4	細砂粒含む	にぶい・橙	還元	底部回転糸切り。
3		カワラケ	Ⅱ			遺構外	(9.5)	(7.0)	2.0	口縁～底部1/3	細砂粒含む	にぶい・黄橙	還元	底部回転糸切り、 内面覆付着。

金属製品観察表

図版番号	種別	器形	区	面	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm
44図5		古銭	Ⅱ		遺構外			
6		古銭	Ⅱ		遺構外			
7		古銭	Ⅱ		遺構外			
8		古銭	Ⅱ		遺構外			
9		古銭	Ⅱ		遺構外			
10	金属品	玉	Ⅱ	Ⅱ	遺構外	1.3	1.3	1.3

石製品観察表

図版番号	種別	器形	区	遺構種	口径(長)cm	底径(幅)cm	器高(厚)cm
44図4	石製品	紡錘車	Ⅱ	遺構外	4.6	2.0	1.3

写 真 图 版



1区 1~4号溝



1区 1~4号溝



1区 5~8号溝



1区 6号溝



1区 全景



1区 全景



1区 全景



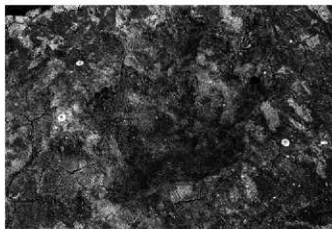
II区 1号土坑



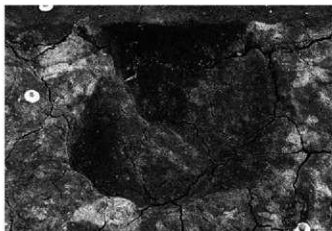
II区 2号土坑



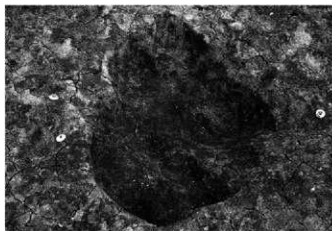
II区 3号土坑



II区 1号ピット



II区 2号ピット



II区 3号ピット



II区 4号ピット



II区 5号ピット



II区 泥濘痕



II区 泥濘痕



II区 泥濘痕



II区 泥濘痕



II区 泥濘痕



II区 泥濘痕



II区 復旧痕



II区 復旧痕



Ⅱ区 復旧痕



Ⅱ区 復旧痕



Ⅱ区 全景



Ⅱ区 全景



Ⅱ区 全景



V区 1号住居使用面



V区 1号住居掘り方



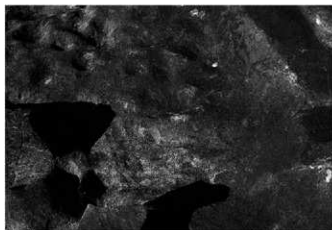
V区 1号住居使用面



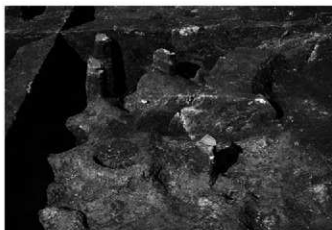
V区 1号住居内土坑



V区 1号住居床下レベル出土遺物



V区 1号住居竪完掘状況



V区 1号住居床下レベル出土遺物



V区 1号住居竪



V区 1号住居出土遺物



V区 1号住居出土遺物



V区 1号住居出土遺物



V区 2号住居使用面



V区 2号住居遺物出土状況



V区 2号住居掘り方



V区 2・3号住居掘り方



V区 2・3号住居掘り方



V区 2号住居竈



V区 2号住居竈掘り方



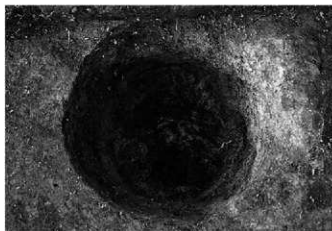
V区 2号住居1号ピット



V区 2号住居2号ピット



V区 2号住居3号ピット



V区 2号住居4号ピット



V区 2号住居北側壁痕跡



V区 2号住居出土遺物



V区 2号住居出土遺物



V区 1号土坑



V区 2号土坑



V区 6・7号土坑



V区 9号土坑



V区 10号土坑



V区 11号土坑



V区 1号井戸



V区 2号井戸



V区 3号井戸



V区 4号井戸



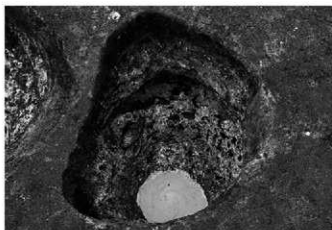
V区 5号井戸



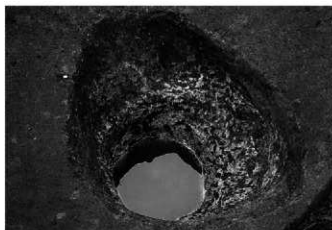
V区 5号井戸礫検出状況



V区 6号井戸



V区 7号井戸



V区 8号井戸



V区 9号井戸



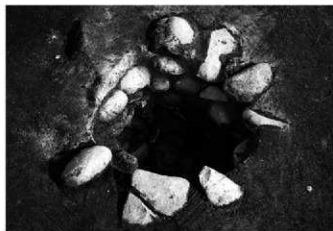
V区 10号井戸



V区 11号井戸掘り方



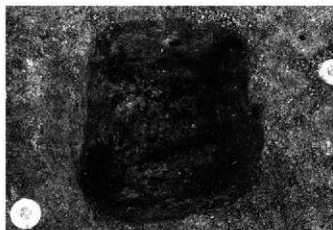
V区 11号井戸掘り方



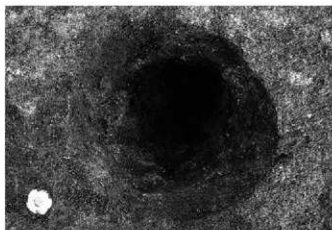
V区 11号井戸



V区 12号井戸



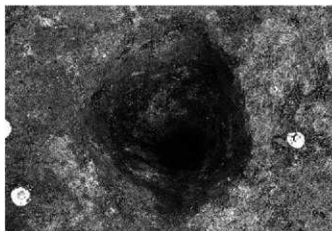
V区 1号ピット



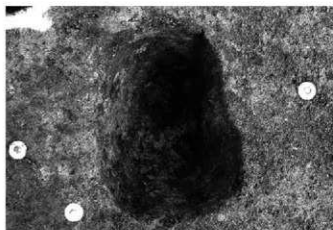
V区 2号ピット



V区 3号ビット



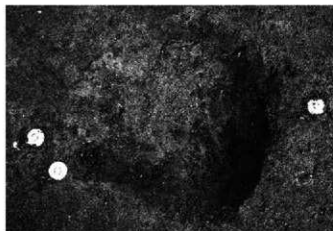
V区 4号ビット



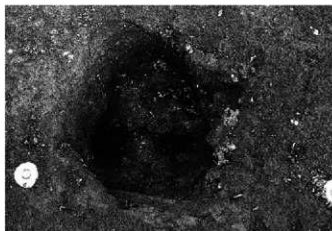
V区 5号ビット



V区 6号ビット



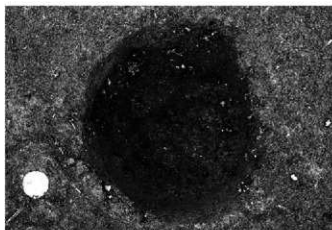
V区 7号ビット



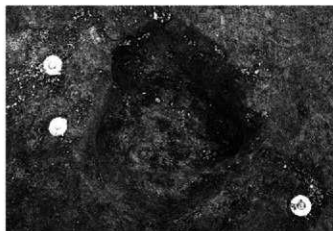
V区 8号ビット



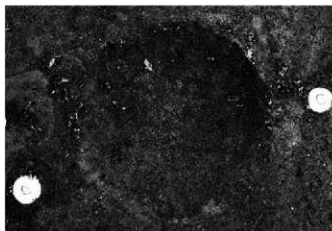
V区 9号ビット



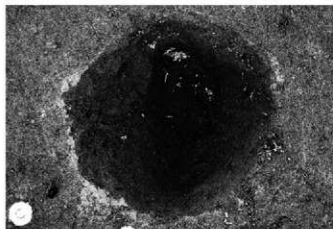
V区 10号ビット



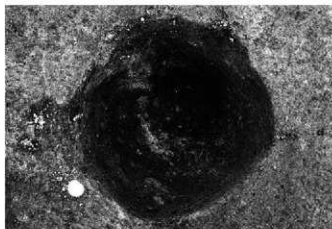
V区 11号ビット



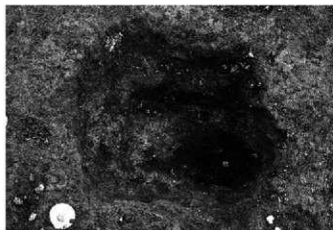
V区 12号ビット



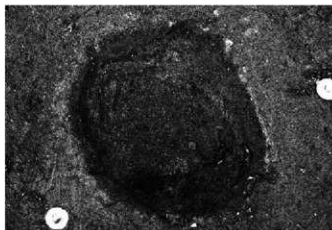
V区 13号ビット



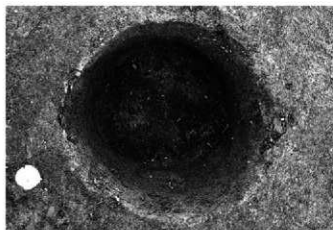
V区 14号ビット



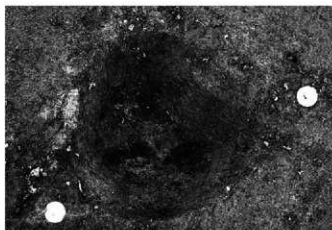
V区 15号ビット



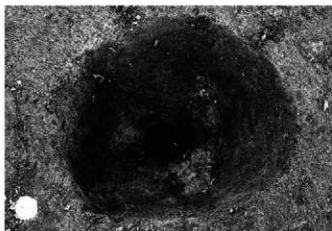
V区 16号ビット



V区 17号ビット



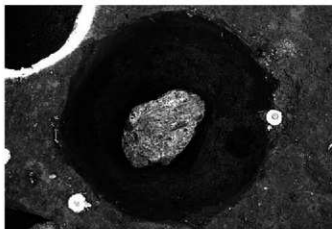
V区 18号ビット



V区 19号ビット



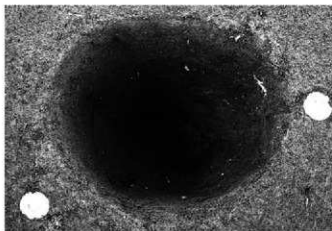
V区 20号ビット



V区 21号ビット



V区 22号ビット



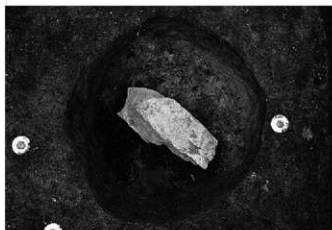
V区 23号ビット



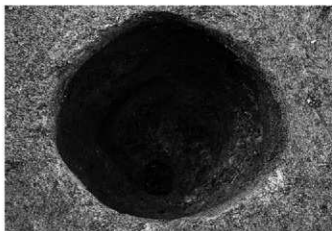
V区 24号ビット



V区 25号ビット



V区 26号ビット



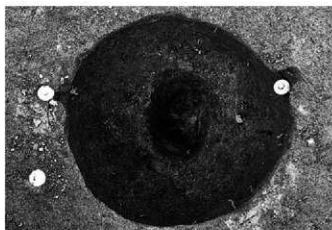
V区 27号ピット



V区 28号ピット



V区 29号ピット



V区 30号ピット



V区 I-14G ピット全景



V区 I-11G ピット全景



V区 J-12C ピット全景



V区 J-13C 遺物出土状況



V区 K-11・12、L-12G ビット全景



V区 K-13G ビット全景



V区 K-15・16G ビット全景



V区 L-13G ビット全景



V区 L-14G ビット全景



V区 L-15G ビット全景



V区 L-16、M-16G ビット全景



V区 1・2号溝分岐



V区 1・7号溝切り合い



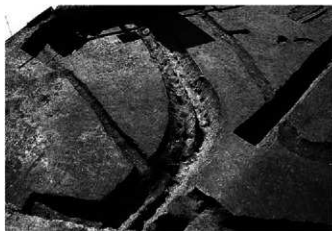
V区 1・7号溝



V区 1号溝出土遺物



V区 2号溝磔検出



V区 3号溝



V区 4号溝



V区 5・6号溝



V区 8号溝



V区 8・9号溝



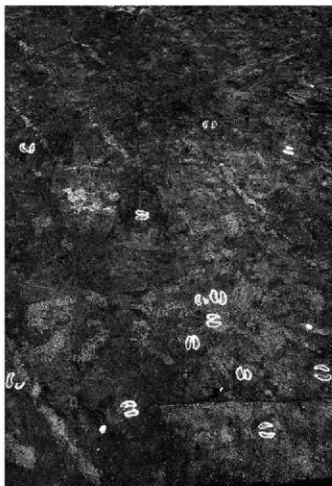
V区 溝検出状況



V区 溝検出状況



V区 水田遺構牛ひずめ跡



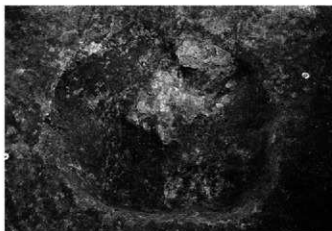
V区 水田遺構牛ひずめ跡



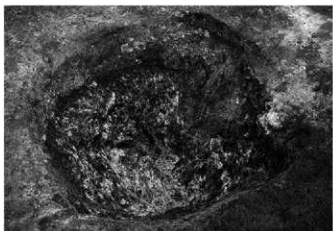
V区 全景



V区 水田面全景



II区 1号土坑



II区 2号土坑



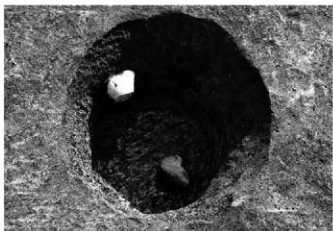
II区 3号土坑、5号井戸



II区 4号土坑



II区 4号井戸、5号土坑



II区 6号土坑



II区 7号土坑



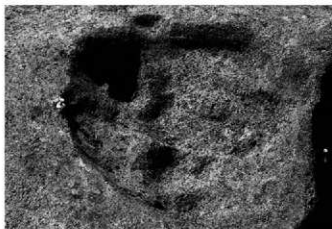
II区 8号土坑



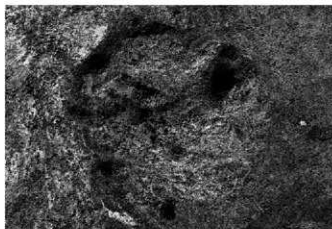
II区 10号土坑



II区 11号土坑



II区 12号土坑



II区 13号土坑



II区 14号土坑



II区 15号土坑



II区 16・17号土坑



II区 18・19号土坑



Ⅱ区 20・21号土坑



Ⅱ区 22号土坑



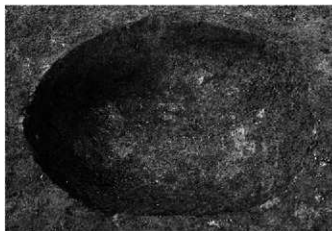
Ⅱ区 23号土坑



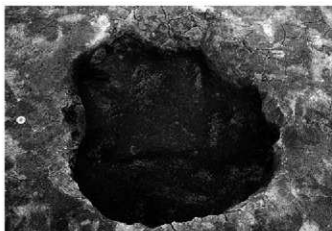
Ⅱ区 24号土坑



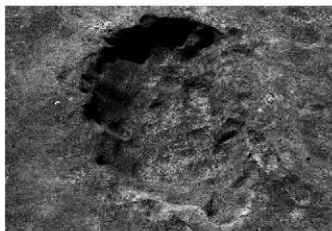
Ⅱ区 25号土坑



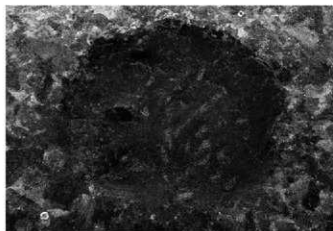
Ⅱ区 26号土坑



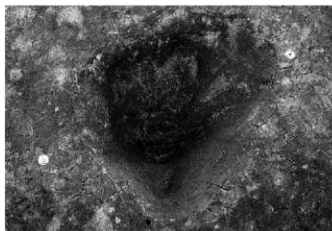
Ⅱ区 27号土坑



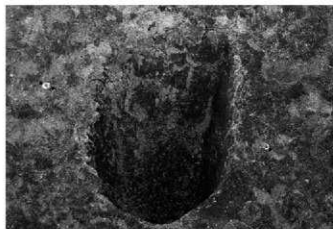
Ⅱ区 28号土坑



II区 29号土坑



II区 30号土坑



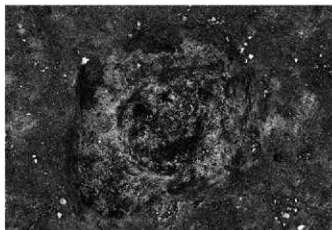
II区 31号土坑



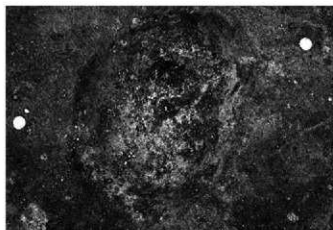
II区 1～3号井戸



II区 6号井戸



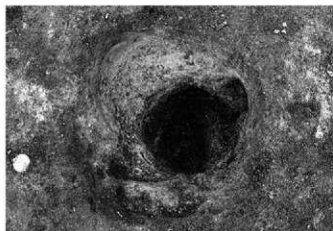
II区 1号ピット



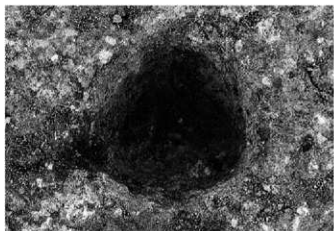
II区 2号ピット



II区 3号ピット



Ⅱ区 4号ピット



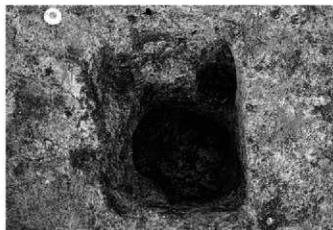
Ⅱ区 5号ピット



Ⅱ区 6号ピット



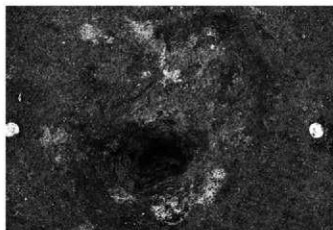
Ⅱ区 7号ピット



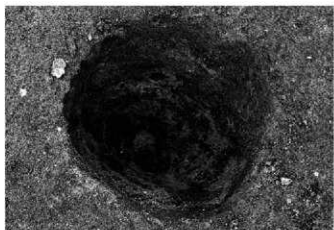
Ⅱ区 8号ピット



Ⅱ区 9号ピット



Ⅱ区 10号ピット



Ⅱ区 11号ピット



Ⅱ区 12号ピット



Ⅱ区 1・2・4号溝



Ⅱ区 2・9号溝



Ⅱ区 3・7・8号溝



Ⅱ区 5号溝



Ⅱ区 6号溝



Ⅱ区 7号溝



Ⅱ区 9号溝



Ⅱ区 10・11号溝



Ⅱ区 全景



Ⅱ区 全景



Ⅱ区 全景



第13図-1



第13図-2



第13図-3



第13図-4



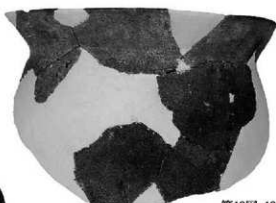
第13図-12



第13図-14



第13図-8



第13図-13



第13図-15



第14図-23



第14図-25



第14図-26



第14図-24



第13図-19



第13図-20



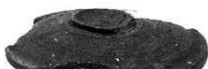
第13図-21



第13図-22



第17図-9



第17図-10



第21図-1



第28図-1溝1



第28図-2溝1



第28図-2溝2



第28図-3溝1



第28図-4溝1



第33図-6



第33図-7



第33図-4



第33図-9



第33図-10



第33図-11



第33図-12



第33図-13



第33図-8



第33図-5

新田西



第33図S-1



第33図S-4



第33図S-2



第33図S-3

赤塚遺跡



第44図-3



第44図-10



第44図-4



第44図-5



第44図-9



第44図-7



第44図-8



第44図-6

抄 録

書名ふりがな	かみしんでんしんでんにしいせき
書 名	上新田新田西遺跡
副 書 名	国道354号（玉村バイパス）地域自立活性化交付金事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻 次	第5集
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第479集
編著者名	友廣哲也
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	平成21年10月29日
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住 所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	かみしんでんしんでんにしいせき
遺 跡 名	上新田新田西遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんさわぐんたまむらまち
遺跡所在地	群馬県佐波郡玉村町
市町村コード	10464
遺跡番号	1194
北緯（日本測地系）	361820
東経（日本測地系）	1390539
北緯（世界測地系）	360515
東経（世界測地系）	1365751
調査期間	20080801-20090331
調査面積	7800
調査原因	道路建設工事
種 別	住居跡/溝/その他
主な時代	平安/中世
遺跡概要	縄文-土器/古墳-住居+溝+土坑+井戸/古代-溝+井戸+土坑+水田/中世-館+掘立柱建物跡+井戸+溝+土坑+水田/近世-火山灰復旧溝+高+土坑
特記事項	
要 約	平安時代から江戸時代にわたる複合遺跡。微高地上には住居跡が確認された。

抄 録

書名ふりがな	かみしんでんあかつかいせき
書 名	上新田赤塚遺跡
副 書 名	国道354号（玉村バイパス）地域自立活性化交付金事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻 次	第5集
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第479集
編著者名	友廣哲也
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	平成21年10月29日
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住 所	群馬県渋川市北極町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	かみしんでんあかつかいせき
遺 跡 名	上新田赤塚遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんさわぐんたまむらまち
遺跡所在地	群馬県佐波郡玉村町
市町村コード	10464
遺跡番号	1195
北緯（日本測地系）	361819
東経（日本測地系）	1390555
北緯（世界測地系）	360515
東経（世界測地系）	1365751
調査期間	20080801-20090331
調査面積	3920
調査原因	道路建設工事
種 別	溝/その他
主な時代	平安/中世
遺跡概要	溝+土坑+井戸/古代-溝+井戸+土坑+水田/溝+土坑
特記事項	
要 約	平安時代から江戸時代にわたる複合遺跡。

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査事業団調査報告書第479集

上新田新田西遺跡・上新田赤塚遺跡

国道354号（玉村バイパス）地域自立活性化交付金事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成21年10月29日 印刷

平成21年10月29日 発行

編集／発行 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

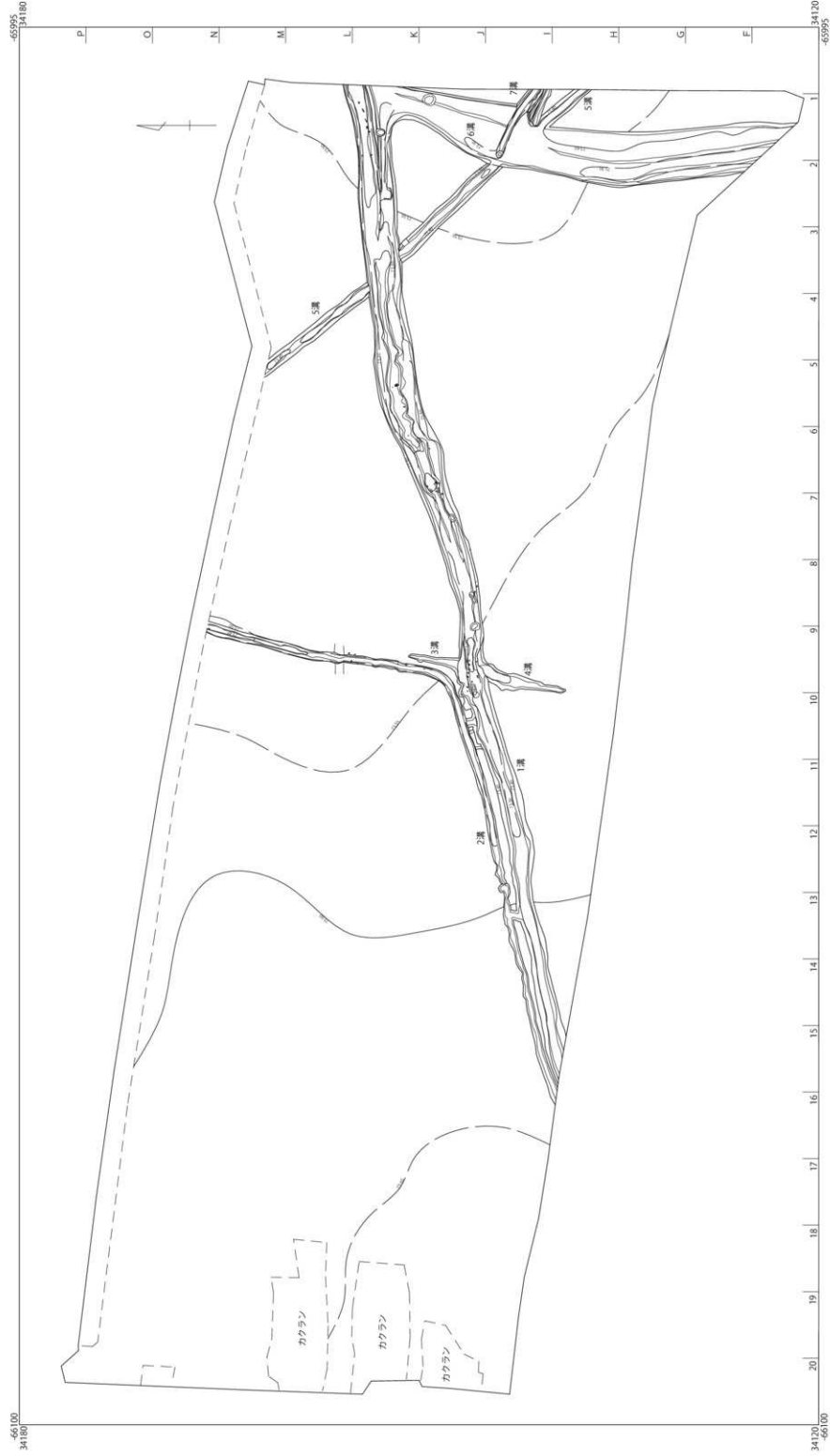
〒377-8555 群馬県渋川市北碓町下箱田784-2

電話 0279-52-2511（代表）

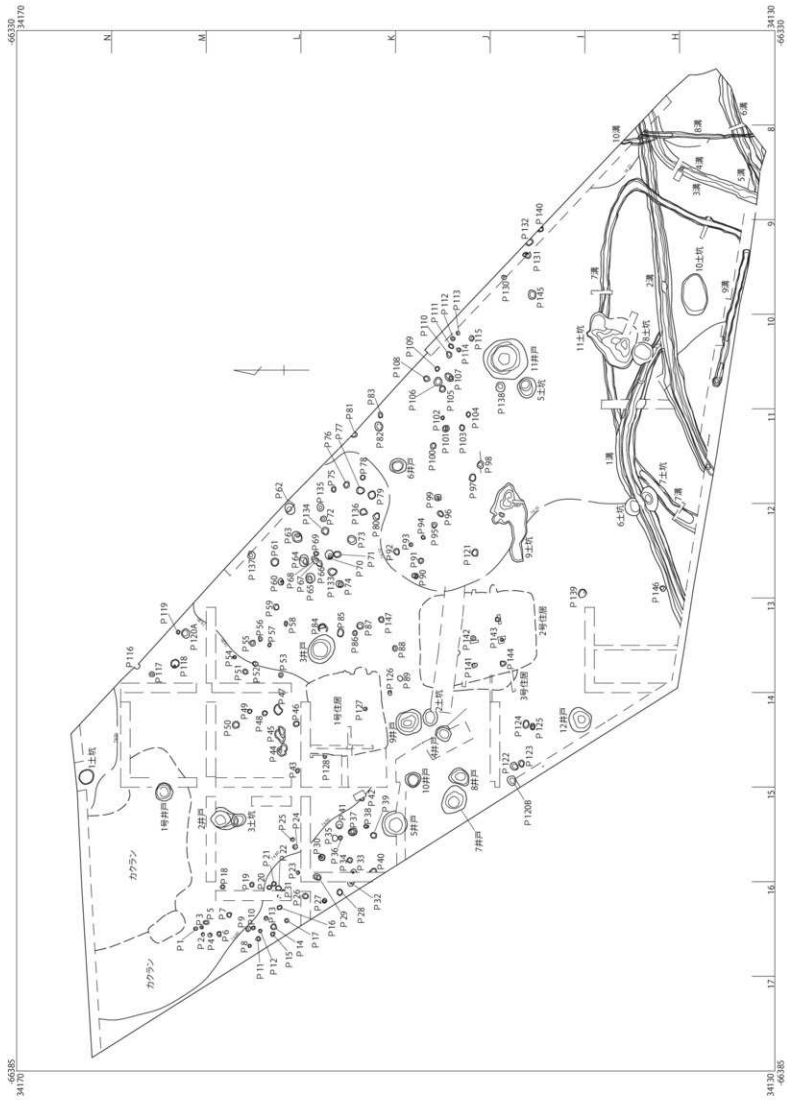
ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org>

印刷／株式会社 開文社印刷所

付図1 上新田新田西遺跡I区全体図(1/300)



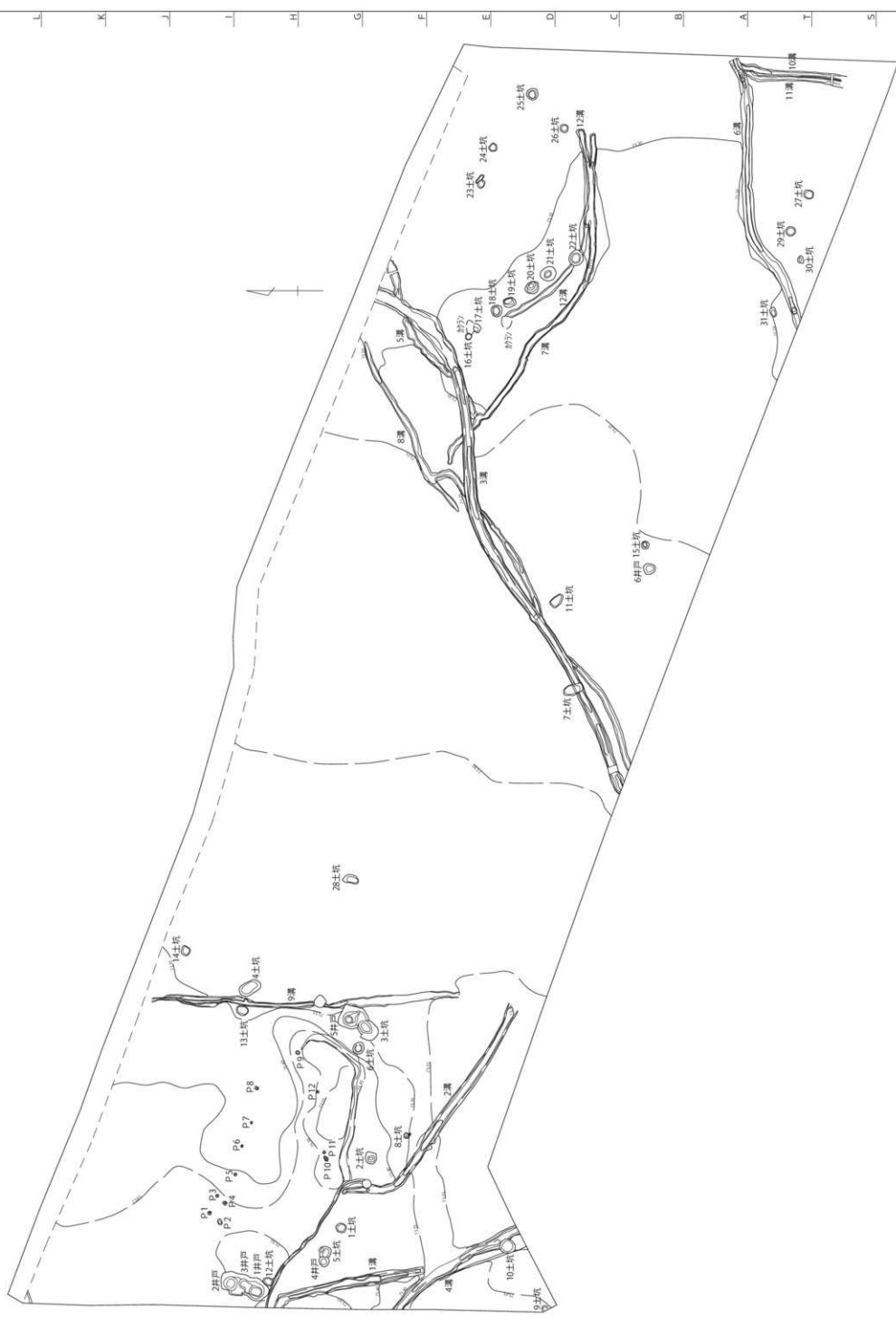
付図 2 上新田新田西遺跡 V 区全体図 (1/200)



付図3 上新田赤塚遺跡Ⅱ区全体図(1/300)

455990
34160

455995
34160



455985
34160

455995
34160